

1. 件名：「志賀原子力発電所2号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（54）」

2. 日時：令和4年4月13日（水）16時00分～18時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、松末技術参与

北陸電力株式会社：小田常務執行役員 他11名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について 敷地内断層の活動性評価（コメント回答）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について 補足資料
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について データ集1（ボーリング柱状図）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について データ集2（ボーリング柱状図）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 適合性審査コメントリスト【敷地の地質・地質構造】

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。
0:00:04	はい、原子力規制庁のカイダです。
0:00:08	それではですね、これからヒアリングをしたいと思います。比嘉原子力 発電所 2 号炉、敷地の地質地質構造についてということで、
0:00:18	敷地内断層の活動性評価のコメント回答。
0:00:21	ヒアリングを開始します。
0:00:23	まず北陸電力の方から資料の確認をお願いします。
0:00:32	はい。北陸電力の吉田です。本日はよろしく願いいたします。
0:00:38	この元に資料の確認をさせていただきます。資料は 4 点ございます。
0:00:44	A 4 の厚い 2 種類の資料ございます本資料と補足資料になります。
0:00:49	その他の薄い 2 種類のデータ集がございます。これは敷地内で実施しま した大深度ボーリングの柱状図と、コア写真をそれぞれおつけしており ます。
0:01:00	この運転が、資料としては、準備してございます。
0:01:04	その他ですね、し、
0:01:06	今日の参考として、過去からのコメントの一覧表、エクセルの表をおつ けしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:13	本日はですね、2回目のヒアリングとなります。前回のヒアリングからの変更点を中心に説明いたします。
0:01:20	まず私の方から、目次の前に添付しました内容について変更点を説明し、
0:01:26	そのあと、本冊での変更点を説明させていただきます。
0:01:30	時間は全体で30、35分程度を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。
0:01:36	それでは本資料の3ページをご覧ください。
0:01:43	昆今回のこの資料の一番大きな修正のポイントは二つ目のマルに書きましたが、社会目標化に対する検討結果も踏まえ、建設時からの車で取得したすべてのデータをもとに説明することとしております。
0:01:59	4ページもご覧ください。
0:02:04	評価対象の10本の断層につきまして活動性評価に用いました、すべてのデータを整理したものを示してございます。
0:02:14	この後、栗野野地が言う社会も、このときのデータであります。そして紫の文字が、前回の1月の審査会合以降のデータ拡充箇所となっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:25	これらのすべてのデータにつきまして、評価結果を、5 ページと 6 ページ、
0:02:30	の方に一覧表としてお付けしてございます。
0:02:34	これらのデータにつきましては、活動性を評価するに当たりまして、根拠のデータとしての信頼性と精度について、我々として確認して区分してございます。
0:02:46	この確認につきまして、少し説明をさせていただきます。5 ページの表中、左の
0:02:53	4 列目から 6 列目、上載地層法等、鉱物脈法と、
0:02:58	書いたやつをご覧ください。
0:03:03	はい。それぞれの手法の左の欄に丸とかですね、三角×があります。これはですね、断層と上載地層法、或いは、断層と上載地層、
0:03:14	或いは、最新面と鉱物脈の切り切られの形態の評価を書いております。
0:03:20	しっかりと上載地層案、変位変形なく断層を、
0:03:25	覆っている場合、もしくは鉱物脈が変位変形なく、最新面を横断しているのと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:32	こういったことが明確に否定できるデータを0と記載しております。
0:03:36	またその横のマルA0Bにつきましては、上載地層や鉱物脈の、
0:03:43	眼鏡評価の確立度合いを示しております。後期更新世以前、
0:03:48	のものと明確に判断できるものをマルAとして区分してございます。このように形態の評価が0でかつ、年代の評価が0へと、
0:03:58	いうデータにより、明確に後期更新世以降の活動を否定できるものと評価しております、
0:04:04	これら評価対象断層10本につきまして0勝英というデータが、一つ以上取得しているという状況です。これ表中で、
0:04:13	青、青の網掛けのデータとなっております。
0:04:18	はい。
0:04:19	一方ですね、それ以外のデータにつきましても、この青の失敗したデータとの整合性を、
0:04:25	我々として確認してございます。表中、黄色で網かけをしている箇所の評価が、今ほどの明確な青のデータと整合していることを確認したことを示しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:38	このようにすべてのデータにつきまして信頼性と精度を考慮した上で、各断層の活動性について総合的に評価を今回してございます。
0:04:47	続きまして7ページの方ご覧ください。
0:04:54	これはですねU社会合で評価がなされた清金につきまして、A社介護の時、どういう評価だったのかということ、そしてそのままどういう追加検討をしたのかということ、そして、
0:05:07	最終的にどのような評価になったのかというのを経緯も取り組みながら、1枚に整理しております。
0:05:14	少しご説明いたしますが、まず左の上の旧A Bトレンチの評価となりますが、
0:05:19	この時点では、グレーで網かけをしたものが、入社介護の評価となっておりますが、我々の評価とは異なっておりました。
0:05:28	ここで示した特に、
0:05:30	(1) (2) (3)、この三つの事象の評価により、活動性が否定できないと。
0:05:36	ということで、この地点を含む数値の北西部が活動性が否定できないと。
0:05:41	いうふうに言う社会が評価がされております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:44	その内、いう社会方の評価のポイントなったこの3項目につきまして、
0:05:50	我々として追加の検討を行い、当社の評価のを支持するデータを取得しております。
0:05:56	少しながら、旧トレンチは増減しておりませんので、我々としては、より正確確実な評価を行うために、このトレンチの位置付近の地下延長のS1で、
0:06:07	鉱物脈データの取得に取り組んでおります。その結果として、右下の矢印の成果として最新面を明確に横断する鉱物脈のデータ、先ほどの青で示すデータですね。
0:06:19	こういったものは、取得することができました。ここで青の網掛けのデータとなります。
0:06:24	このように、各データにつきまして、過去の評価、追加検討の有無、最終的な評価が経緯として分かるようにしてございます。
0:06:33	理事者介護の評価におきましては、このS1のほかに、SES6も評価がなされております。
0:06:39	次の8ページには、それにS6をまとめてございます。説明の詳細は省略いたしますが、同じような記載でまとめております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:49	続きまして9ページ以降、これにつきましては、前回の審査会のから行った追加調査の
0:06:56	内容を示してございます。それぞれ今後、項目ごとに内容をです。
0:07:01	とか、結果ですね、そういったものを一覧表に整理しており、10ページにはその位置図を示しております。
0:07:08	これは前回のヒアリングは変更はございません。
0:07:12	前回のヒアリングはですね、この6項目のうち、2行目の鉱物脈法等一番下のS4の追加調査。
0:07:19	この二つの結果をですね、後段のページに、1ページ、もんでつけておりましたが、
0:07:25	前回のご指摘を踏まえまして、この6億すべての概要を1ページにまとめて、11ページ以降に添付してございます。
0:07:34	これについては
0:07:36	反証いただければと思います。
0:07:38	17ページ以降、19ページにつきましては、コメントの一覧と対等の概要を示しております。
0:07:45	これにつきましても、参照いただければと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:07:49	それでは引き続きまして、詳細な内容につきまして、津守の方から説明させていただきます。
0:07:57	はい。北陸電力のスモリです。23 ページ以降につきまして、前回ヒアリングからの変更点を中心にご説明いたします。
0:08:05	まずは 1 章ですけれども、36 ページをご覧ください。
0:08:12	36 ページ、V S P 探査で用いた大深度ボーリングの調査結果になりました。P S 検層より決定した花崗岩状面をもとに、37 から 39 ページで示すように、
0:08:24	反射法 V S P 探査で、花崗岩状面の反射面の連続性を確認しております。
0:08:30	なお、本ボーリング孔はノンコア屈伸としておりまして、深度 20 メートルごとにカッティングス観察、
0:08:36	深度 1200 メートル以深は 100 メートルごとにスポットコアリングを実施し、その柱状図、コア写真を、今回データ集 1 に添付してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:46	36 ページで1点修正がございまして、36 ページの右下の、2 ポツ目に です。なお、大深度ボーリングは、地盤物性値地震計設置を目的に掘削したボーリングであり、
0:08:59	と記載してございますが、正しくは、地下深部の3次元地下構造の確認 及び地質構造に関するデータの充実を目的に、掘削したボーリング
0:09:10	ですので、次回資料には、そのように修正したいと思います。
0:09:16	次に39 ページをご覧ください。
0:09:21	反射法VSP探査結果と、敷地内断層との関係がわかるように、ボーリ ング調査結果に基づいた敷地内断層位置を反射断面上に加筆してござい ます。
0:09:31	1章についての変更点は以上になります。
0:09:36	44 ページ以降が、敷地内断層の活動性評価となります。
0:09:41	46 ページをご覧ください。
0:09:45	冒頭でもご説明しましたが、青字で示す、融資有識者会合時の評価デー タに加え、土木に拡充したデータを用いて、評価対象断層の活動性評価 を行いました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:57	活動性評価にあたっては、敷地内断層と活断層との破碎部性状の比較や、敷地内断層と主敷地周辺の広域的な検討を踏まえ、上載地層法及び鉬物脈法により、総合的に評価を実施しております。
0:10:12	次に 48 ページをご覧ください。
0:10:17	S1 の活動性評価地点ですが、左下の表に青字で示す、有識者会合時の評価データに、その後の拡充データも含めたすべての評価地点を整理しております、
0:10:27	上載地層、地層法は、5 地点、
0:10:30	鉬物脈法は 9 地点で評価を行っております。
0:10:34	これらのうち、断層の後期更新世以降の活動を否定するにあたり、地層や鉬物脈等の年代及び断層による変位変形がないことが明確に確認できる地点を、
0:10:44	青色や黄色で着色しております、
0:10:47	上載地層法は 1 地点、
0:10:49	鉬物脈法は 3 地点で、いずれも前回から変更はありません。
0:10:54	次に 49 ページをご覧ください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:57	F2S6の活動性評価地点ですが、S1と同様に、青字で示す、いう所へ、社会5時の超過データに、その後の拡充データも含めたすべての評価地点を整理しております、
0:11:10	上載地層法は3地点、鉱物脈法は4地点で評価を行っております。
0:11:16	これらのうち、青色や黄色で着色した年代及び変位変形がないことが明確に確認できる時点は、
0:11:22	上載地層法は1点。
0:11:24	鉱物脈は3地点で、いずれも前回から変更はありませんが、
0:11:29	上載地層法のNo.2トレンチで、
0:11:32	評価を行うにあたり、S2S6の地下延長部の断層の活動による、地表付近の変形の有無を確認するために、S2S6周辺の地形及び、
0:11:42	岩盤上面高度分布の確認等もあわせて行っております。
0:11:47	50から51ページに、その他の評価対象断層の活動性評価地点を示しております、
0:11:53	各断層でS1やS2S6と同様の整理を行っており、年代及び変位変形がないことが明確に確認できる地点は、いずれも前回から変更はありません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:05	53 ページ以降が、評価に用いる変質鉱物でして、ちょっと飛びますが 98 ページをご覧ください。
0:12:18	98 ページ、能登半島周辺の地質構造に関する規模知見としまして、能登 半島の隆起量に関する記載のある、町田ほか 2006 を加筆しております て、
0:12:28	能登半島には多数の改正段丘面が存在し、
0:12:32	第 4 期中後期における留置を示しており、
0:12:35	段丘面の最高高度は標高 400 メートルに達するとされております。
0:12:40	評価に用いる変質鉱物の追加変更箇所は以上になります。
0:12:46	121 ページからは、細部中の鉱物脈についてです。
0:12:51	122 ページをご覧ください。
0:12:58	今回観察事実を踏まえた評価結果を黄色四角に整理しておりますて、
0:13:03	破碎部中のイライトスメクタイト混合層等の鉱物脈に変位変形が認めら れないことから、破碎部の形成は、鉱物脈の生成以前と判断しました。
0:13:13	ただし、ボーリングコア観察では、確認した鉱物脈は主せん断面を横断 しておらず、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:19	断層の最新活動との関係については明確に判断できないことから、中せん断面を横断する鉱物脈については、微視的観察による鉱物脈法により確認を行いました。
0:13:31	次に 143 ページをご覧ください。
0:13:38	こちら粘土分を濃集した X R D 分析結果ですが、イライトスメクタイト混合層と同定した根拠である、結晶構造判定図を前回示しておりませんでしたので、
0:13:48	今回、結晶構造判定図を右上に加筆しており、147 ページも同様の変更をしてございます。
0:13:58	161 ページ以降が、各評価対象断層の鉱物脈法による評価になります。
0:14:05	162 ページをご覧ください。
0:14:09	こちら S1 の鉱物脈法による評価地点です。
0:14:14	左下の表に青字で示す、融資者会合時の評価に、評価データに、その分の拡充データも含めた九つの評価地点で、公立学校による評価を行っておりまして、
0:14:24	このうち、年代及び変位変形がないことが明確に確認できる地点は、黄色着色した前回と同じ 3 地点になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:33	A 格評価対象断層の該当ページでも同様に整理しております。
0:14:38	169 ページをご覧ください。
0:14:46	16.6 の 1 項の X R D 分析結果ですが、
0:14:50	左上の X R D 分析試料採取位置が、どの資料のどの深度なのかを明記しておりませんでしたので、今回資料名と採取深度を加筆しております。
0:15:01	以下、X R D 分析による鉱物の同定を行った箇所については、すべての評価対象断層で、同様に加筆してございます。
0:15:10	次に飛びますが 212 ページをご覧ください。
0:15:20	こちらは有識者会合時のデータである 1 号原子炉建屋底盤の評価結果として、
0:15:25	有識者会合時の当社評価及び有識者の評価を踏まえた現在の当社評価がわかるように整理してございます。
0:15:33	有識者会合時に、当社は E L - 7.1 メートルの 1 号原子炉底盤では、帯状火砕岩が S 1 を分断するように分布しており、
0:15:43	ほかには暖冬の変状は認められないと評価しておりましたが、
0:15:47	一方で有識者は、帯状火砕岩は S 1 の変位の有無を判断するための適切なマーカーではないと評価してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:56	以上を踏まえて現在は、美女火砕岩がS1を分断するように分布しており、そこに破断等の変状は認められないが、露頭が現存しないため、明確に判断できないと評価しております。
0:16:09	次に217ページをご覧ください。
0:16:14	こちら融資者会合時のデータである岩盤調査坑における露頭研磨面、薄片観察による評価結果でして、
0:16:22	1号原子炉底盤と同様に、有識者会合時の当社評価及び有識者の評価を踏まえた現在の当社評価をわかるように整理しております。
0:16:32	S1についての追加変更箇所は以上です。
0:16:37	230ページ以降に、その他の評価対象断層の鉱物脈法による評価結果を示しておりますが、すでにご説明した共通の変更点を除いて、特に変更箇所はございません。
0:16:50	飛びまして488ページからが、敷地内断層と活断層と破碎部性状の比較になります。
0:16:58	489ページをご覧ください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:07	今回観察事実を踏まえた評価結果を、黄色四角に整理しておりまして、  敷地内断層は活断層と異なる破碎部性状を有しており、このことは、鉱物脈法により、
0:17:18	敷地内断層の最新活動は少なくとも後期更新世以降に生成したものではない、イライトスメクタイト混合層の生成以前と評価したことと整合的です。
0:17:29	また、右の性状比較表で参照ページがわかりにくかったことから、今回参照ページを、表の右端にまとめて整理してございます。
0:17:39	次に 495 ページをご覧ください。
0:17:46	福浦断層の F K 1 孔で実施した年度分の中の X R D 分析結果ですが、
0:17:52	イライトスメクタイト混合層と同定した根拠である 1 相構造判定図を示していなかったため、今回、結晶構造判定図と判定結果を、右の方に開発してございます。
0:18:05	次に 501 ページをご覧ください。
0:18:11	Y 面と、イライトスメクタイト混合層との関係が詳細にわかるように今回追加したページになりまして、
0:18:18	上地の黄色四角箇所の拡大写真で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:21	イライトスメクタイト混合層に複数の明瞭なY面や引きずり等の変形が認められます。
0:18:28	またスケッチの黄色の丸破線ですが、こちらは、Y面が局所的に不連続になる箇所を示しております。
0:18:35	ただほとんどのY面は、不連続箇所が認められず、右の拡大写真のように、連続的に観察されております。
0:18:42	以上のことを踏まえまして、クール断層は、イライトスメクタイト混合層に権益を与えていると判断しました。
0:18:51	502 ページは、上に示す敷地内断層の薄片と主体に示す大坪ダム右岸付近の3ヶ所の露頭で作成した薄片を比較した結果になります。
0:19:02	大坪ダム右岸トレンチの2枚の薄片を左上と右上、
0:19:06	大坪川ダム右岸喜多道路の薄片を左下、
0:19:10	大坪川ダム大南道路の薄片を右下に示しており、いずれも上の敷地内断層の薄片と比較して、明瞭な複合面構造及び層状構造が認められております。
0:19:22	またこれらの福浦断層の3ヶ所の露頭で作成した薄片観察の結果、
0:19:27	福田断層は、ハロイサイト等に変位変形を与えていると判断しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:33	503 ページ以降に、各露頭の評価結果を示しておりますが、
0:19:37	509 から 512 ページの、大坪川ダム右岸北道路のは、観察結果を例として、変更点をご説明いたします。
0:19:46	510 ページをご覧ください。
0:19:52	当薄片において、今回は、右の拡大写真と、次ページの、
0:19:59	拡大写真を示しておりましたが、
0:20:01	今回、融資者会合時に示していた、510 ページの左側の拡大写真も追加で示しております、いずれも明瞭な複合面構造が認められます。
0:20:12	次に 511 ページをご覧ください。
0:20:18	Y 面と変質鉱物との関係が詳細にわかるように今回追加したページです、
0:20:23	スケッチの黄色四角箇所は、粘土鉱物に複数の明瞭な Y 面や引きずり等の変形が認められます。
0:20:31	またスケッチの黄色丸破線は、Y 面が不連続になる箇所ですけれども、
0:20:36	このような不連続箇所が認められない Y 面も、分布しております、連続的な箇所は、右の拡大写真のように観察されます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:45	以上を踏まえまして、F9断層は、こちらの粘土鉱物に変位変形を与えていると判断しました。
0:20:52	この粘土鉱物の種類を確認するために実施したXRD分析が512ページになります。
0:21:01	大津原田部秋田道路の断層位置で実施したXRD分析の結果、主な粘土鉱物としてスメクタイト及び風化変質鉱物と考えられるハロイサイトが認められます。
0:21:13	XRD分析に加え、薄片観察で褐色の鉱物この沈着が認められることなどを踏まえまして、露頭では、風化変質等の影響を顕著に受けていると推定されることから、
0:21:24	イライトスメクタイト混合層の同定は困難であると判断しております。
0:21:29	503から508ページの大坪ダム案トレンチや、513から516ページの、大坪川ダムが南道路においても同様の変更を行っております。
0:21:41	敷地内断層と活断層との破碎部性状の比較は、以上になります。
0:21:47	続きまして518ページからが、上載地層法による活動性評価になります。
0:21:53	556ページをご覧ください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:00	556 ページ、こちらが S1 の上載地層法による評価地点です。
0:22:06	左下の表に示す五つの地点で、五つ包括点で上載地層法による評価を行っておりまして、そのうち、年代及び変位変形がないことが明確に確認できる地点は、
0:22:18	青色で着色した式駐車場南東方トレンチで、前回と同じ地点になります。
0:22:25	S1 の上載地層法による評価地点は、いずれも融資者会合時の評価データでして、これらの評価データについては、融資者会合時の当社評価、
0:22:34	結城有識者の評価及び、有識者会合以降の追加検討を踏まえた、現在の当社評価がわかるように整理しておりますので、
0:22:42	旧 A B トレンチを例にご説明いたします。
0:22:46	575 ページをご覧ください。
0:22:54	こちら旧 A B トレンチの評価結果でして、
0:22:57	有識者会合時に当社は、
0:22:59	S1 は中位段丘 I 面を構成する堆積物に変位変形を与えていないと判断する。
0:23:04	判断される。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:06	また、佐伯層が断層変異を受けた場合の変位変形の出現形態について検討を行った結果、
0:23:12	岩盤上面の段差が佐伯層堆積後に断層運動により変位したものと仮定した場合、
0:23:19	段差付近の砂れき層中には、せん断面や地層の擾乱が生じると判断されると評価しております。
0:23:26	一方で有識者は、(1) S1 に沿って、M I S5 e の波蝕面の岩盤上面に一様な段差が認められる。
0:23:34	括弧に断層沿いの断層沿い及び肩部分に、軟質な凝灰質の細粒部が分布する。
0:23:41	-3
0:23:42	土居の堆積物の層理面は、すべて弾性側に傾斜し、一部の壁面を除き、段差直上で層理面の増傾斜も認められる。
0:23:51	従って、M I S5 e の改正堆積物堆積後に、S1 が変異したと解釈するのが最も合理的と判断すると評価しております。
0:24:01	旧 A B トレンチは現存せず、トレンチ壁面での直接的なデータ拡充はできないため、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:06	入社会合以降に、有識者の（１）から（３）の個別評価に関して、追加検討を行っております。
0:24:13	まず（１）岩盤上面の段差の検討では、
0:24:17	旧ＡＢトレンチ周辺の地形と岩盤上面形状のデータから、旧ＡＢトレンチの岩盤上M e n d o z aの成因を検討した結果、同段差は河川の侵食作用により、S1沿いに形成されたものと考えられます。
0:24:33	次に（２）、凝灰質の細粒部の硬さに関する検討では、
0:24:38	軟質と評価された凝灰質の細粒分について、やはり貫入試験を行い、コーナンを確認した結果、同細粒部は岩盤と同程度のコーン度を許しており、
0:24:48	断層部において、侵食されずに残ったものと考えられます。
0:24:52	最後に（３）、層理面の傾斜等に関する検討では、旧ＡＢトレンチを模擬した堆積実験及び断層変位実験を行い、層理面の傾斜の成因について検討した結果、
0:25:04	同傾斜はS1の変異により形成されたものではなく、
0:25:08	段差を埋める堆積構造であると考えられます。
0:25:12	以上を踏まえて現在は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:14	入社会合時の当社評価を支持するデータを取得したものの、
0:25:18	直接的な地質データではないため、より正確確実な評価を行うために、 旧 A B トレンチの地下延長部において、理事者会合の今後の課題にも対応する鉱物脈法により評価することとし、
0:25:31	609 ページに示します。
0:25:34	旧 A B トレンチの地下延長部における鉱物脈法による評価の結果、 S 1 を横断するイライトスメクタイト混合層に変位変形は認められないと評価しております。
0:25:46	S 1 の上載地層法による評価は以上になります。
0:25:50	続きまして 611 ページをご覧ください。
0:25:57	こちら S 2 S 6 の上載地層法による評価支援になります。
0:26:02	左下の表に示す三つの評価地点で上載地層法による評価を行っております、
0:26:07	そのうち、年代及び表、変位変形がないことが明確に確認できる地点 は、青色で着色した N o. 2 トレンチで、前回と同じになりますが、
0:26:17	あわせて、 S 2 S 6 周辺の地形及び岩盤上面高度分布や凸状地形に関する 検討を行っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:26:26	別に S 6 の上載地層法による評価地点は、いずれも有識者会合時の評価データでして、これらの評価データについても、S 1 と同様に整理しております。
0:26:38	612 ページは N o. 2 トレンチの評価結果でして、融資者会合時の当社評価有識者の評価及び、有識者会合以降の追加検討を踏まえた結果、
0:26:49	黄色四角に示すように、S 2 S 6 の最新活動は M1 段丘堆積物の堆積以前であり、S 2 S 6 の地下延長部の断層が後期更新世以降に活動し、
0:27:00	地表付近に変位変形をおよぼしたことはないと評価しております。
0:27:06	617 ページをご覧ください。
0:27:11	こちら N o. 2 トレンチにおける層理の傾斜データ分析ですけれども、有識者は、N o. 2 トレンチの M1 段丘堆積物が東側に傾斜すると評価しております。
0:27:24	これに対しまして融資者会合以降に、
0:27:26	M1 段丘堆積物の S 2、S 6 の断層活動による影響について検討するために、
0:27:33	トレンチ両面の M1 段丘堆積物中に認められる層理の傾斜方向と断層との関係を確認した結果、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:40	土肥の傾斜方向は、断層からの距離に関係なく、ばらつきが認められ、
0:27:45	断層の直近で急傾斜となり、断層から離れるに従って緩傾斜となるような、そのような傾向が認められません。
0:27:53	なお参考としまして、623 ページに、
0:27:56	福浦断層の、大坪川ダム右岸トレンチで認められる通りの傾斜と断層からの距離の関係を整理しております、
0:28:04	活断層と評価した福田断層では、層理の傾斜方向は、断層からの距離に応じて系統的に変化しており、
0:28:11	断層の直近で急傾斜となり、断層が離れるに従って緩傾斜となります。
0:28:18	617 ページに戻っていただいて、この融資者会合以降の検討結果に、
0:28:23	融資者会合時のデータである、上四角の 3 マル目と 4 マル目、
0:28:27	も踏まえて行った結果を、今回黄色四角に整理しております、
0:28:32	N o. 2 トレンチの M1 段丘堆積物に S2S6 の断層活動による変形を示唆する傾向は認められないと評価しております。
0:28:41	上載地層法による評価は以上になります。
0:28:46	続きまして 707 ページをご覧ください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:54	707 ページ、こちらは、こちらでは有識者会合により示された今後の課題、5、6 を踏まえて、敷地内断層と敷地周辺の広域的な検討を行っております、
0:29:06	敷地近傍の福村断層、堀川南岸断層、碁盤島沖断層、兜岩沖断層の 4 断層は、いずれも敷地内断層と連続する旨のものではないこと。
0:29:17	及び常盤南岸断層から、蘇武と岩尾沖断層間に連続する構造は認められないことから、
0:29:23	敷地内、敷地内及び周辺に分布する断層と連続する断層は認められないことを確認しております。
0:29:31	708 から 712 ページに、今後の課題 5 に対して行った敷地内断層と、敷地周辺の断層との連続性検討結果を、
0:29:41	713 から 732 ページに、今後の課題 6 に対して行ったと井川南岸断層から兜岩沖断層間の地質構造の確認結果を示しております。
0:29:54	733 ページ以降が、活動性評価のまとめです。
0:29:58	735 ページをご覧ください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:06	S1の活動性評価のまとめでして、青字で示す、融資者会合時の評価データに加え、その後に拡充したデータを踏まえ、用いてS1の活動性評価を行っており、
0:30:17	駐車場南東方トレンチでの上載地層法、
0:30:20	H6.6の1項、16.7項M12.5Ⅱ'孔での鉞物脈法による評価の結果、
0:30:27	別の最新活動は、一々段丘堆積物の堆積及びイライトスメクタイト混合層等の生成以前であり、
0:30:35	その他のチェック調査データについても、この評価と整合することから、S1に後期更新世以降の活動は認められないと評価しました。
0:30:45	737、738ページでは、
0:30:48	S1の活動性評価に関して、これまでに取得したデータについて、時系列的にその時々の評価がわかるように、表に整理しております。
0:30:58	その他の根拠とした旧ABトレンチ等の現在の評価で、ピンクの網掛けをした部分の考察を、表の一番右に記載しております、
0:31:08	いずれも網掛けの、年代及び変位変形がないことが明確に確認できる地点の評価と整合することを確認しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:18	739 ページ以降の、その他の評価対象断層の活動性評価のまとめでも同様に整理しております。
0:31:26	751 ページが剛性評価の総合評価結果でして、
0:31:32	敷地内断層と活断層との破碎部性状の比較や、敷地内断層と敷地周辺の広域的な検討を踏まえ、
0:31:39	上載地層法及び攻略法により総合的に評価を実施した結果、
0:31:44	評価対象断層はいずれも後期更新世以降の活動は認められないことから、敷地に分布する 36 本の断層は、いずれも将来活動する可能性のある断層等ではないと評価しました。
0:31:57	資料の説明は以上になります。
0:32:06	はい。規制庁のカイダです。説明ありがとうございました。
0:32:10	それではですねちょっとこれ、今説明していただいた、
0:32:16	ことに関しまして、確認等さしていただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。
0:32:23	まずはちょっと前、全体的なところとして
0:32:30	活動性評価結果のまとめというか、5 ページ、6 ページ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:38	と、あと同じような表が、最後の方にも出てくるんですけどまず5ページ6ページで、
0:32:45	活動性評価結果っていうのが書いてあってここに評価がまとめてあるというところがわかります。
0:32:55	これ
0:32:56	青っていうところが、0勝都丸ということで、
0:33:03	変位変形がないっていうことを確認できたということの根拠に使うものっていうことは書いてあって、
0:33:12	他の白のところっていうのは、
0:33:15	読み解いていけば、小青と矛盾するようなものではないっていう。
0:33:22	ことかなあと思うんですけど逆に矛盾するものが一つでもあったら、
0:33:26	これ
0:33:28	活動性が否定できないということになるんですけど、
0:33:31	この5ページ6ページ見る限りではちょっとなかなかその辺りが読み取れないんですけど、
0:33:38	これ、何か、後ろの方でわかると思うんですけどこの表で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:45	何かそういったところが矛盾したいのであれば、矛盾しないということ で、
0:33:49	わかるような、
0:33:51	表現というか、
0:33:53	の仕方っていうのは工夫できないかなと思うんですけども、まずはこ う矛盾しないものばかりということで、
0:34:00	よろしいんですかね、青以外の白のところなんですけれども。
0:34:06	はい、北陸電力木村です。
0:34:08	青以外の白抜きデータにつきましては、すべてアオノDたと矛盾しな いということで、
0:34:19	良いんですけども、そのことをちょっと5ページの上の四角の箱書き。
0:34:29	上から二つ目の丸のところですね、その他に取得したデータについて も、上記データと整合していることを確認したと。
0:34:39	黄色の部分が、
0:34:41	上記のDた、青のハッチかけたデータと整合しているということをここ で明記。
0:34:49	しているんですけども、このような形。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:52	では、
0:34:55	このような形で、
0:34:57	いかがでしょうかね。
0:35:04	はい。規制庁甲斐です。この上のところに一文書いてあって、今ご説明 いただいた通りかなと思います。
0:35:15	矛盾してないその他に取得したデータしたデータについても、
0:35:20	整合している矛盾してないということが、
0:35:24	表から一目でぱっとわかればと思ったんですけども、こういった注記が あるのであれば
0:35:34	そこでひとまずは読み取る。
0:35:37	ということにしたいと思いますんで、
0:35:40	全部矛盾しないということで今評価されてるところはわかりました。
0:35:47	この表についてなんですけれども、
0:35:50	ちょっと全体の後の説明と、
0:35:55	こう合ってるかどうかというところで、何点か確認したいところがあり ます。
0:36:02	で、まずはこの5ページのS1の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:36:07	旧 A B トレンチは三角で、
0:36:12	マル B というふうになってるんですが、
0:36:16	これは後ろの方の実際の説明詳しい説明、500、600 ページ前後だと。
0:36:25	変形はないという、
0:36:28	ことで、
0:36:30	なので、0 っていうような説明がしてあって、堆積物の年代も、
0:36:36	これは、
0:36:38	B ではなくて、
0:36:40	不
0:36:41	ちょうどなんていう後期更新世、
0:36:45	後期更新世以降移行中 M 一面ということで年代がわかってるっていうよ うな形の書きぶりではあったと思うんですけども、
0:36:57	あと掘削法面もマル B となっておりますけどもこの辺りは、
0:37:01	あえて三角とかマル B ってされてるのは、どうなんすか後の方の説明 も、
0:37:09	ちょっとどっち使うような書きぶりになってるところもあたりして実 際どうだったのかっていうところと、後の実際、詳細の説明との、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:17	整合性についてちょっと確認したいんですけどいかがです。
0:37:23	北陸電力木村です。
0:37:25	まず旧A Bトレンチにつきましては、
0:37:30	S1は、中位段丘I面を構成する堆積前変位変形を与えていないという書いてありましてこの中位段丘I面を構成する堆積物という言い方ですけども、
0:37:42	これは確かに、
0:37:44	中位段丘I面に、
0:37:48	当たる位置でトレンチを掘っているので、中位段丘I面を構成する堆積物ではあるんですけども、実際にこの露頭は現存していませんので、
0:38:00	この堆積物は、改正堆積物かどうかという判断ができないということで、
0:38:07	水5eに堆積したものであるということは明確に判断できないというふうに評価をしております。
0:38:15	それから、変位変形を与えていないと考えられるが、露頭が現存しないとは明確に判断できないというふうに、
0:38:24	書いて、5ページの方に書いてあるんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:27	変位変形が与えていない。
0:38:30	というふうに、医師会 5 以降の追加検討によって、変位変形を与えていないことを支持するデータが獲られたということ、
0:38:41	以上、
0:38:44	旧 A B トレンチの評価ですね 575 ページのところに、
0:38:52	175 ページの下から二つ目のちい度の四角のところに、入社会合時の当社評価を支持するデータを取得、
0:39:01	というふうに書いてあるんですけども、
0:39:04	これも露頭が現存しないので、明確な判断はできないと。
0:39:10	というふうに評価しております。ですので、断層と上載層との関係は、
0:39:16	明確に判断できないということで三角で、堆積物の年代についても、注意段丘 I 面を構成する堆積物なんですけども、実際に露頭で、
0:39:27	開成大生物かどうかということを明確に判断できないので、年代が明確に判断できない、マル B というふうに評価をしております。
0:39:39	掘削法面につきましては、対檀金 1 名を構成する堆積物、
0:39:45	に変形を与えていないと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:47	これについては、そのように評価しているので、丸なんですけども、上 載層の年代については、旧 A B トレンチと同様に、元、
0:39:59	現存していないと。
0:40:01	いうことで、
0:40:02	上載地層の年代は改正帯磁率であるということは明確に言えないという ことで、
0:40:08	3、マル B というふうにしております。
0:40:12	なので、この 5 ページの記載と、
0:40:16	実際の
0:40:17	中の方の 575 ページですとか、
0:40:23	掘削法面ですと、
0:40:25	606 ページですね、の記載は、そのように、と合わせております。
0:40:32	はい。以上です。
0:40:36	はい、規制庁のカイダです。
0:40:39	説明、ご説明は聞いててわかるんですが、
0:40:46	例えば

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:48	ちょっと断層と調査位置等の関係が、ずれてるかわからないかっていうのは、掘削法面だって古い。
0:40:56	今現状確認できない法面で、でもこっちは丸が書いてあって、
0:41:02	A B トレンチもいろいろ検討した結果、そうじゃない。
0:41:06	売れてないっていう評価してる。
0:41:09	違いが、そこでどう生じるのかとか、
0:41:13	あと堆積物の年代も、
0:41:17	S2、S6のNo. 2 トレンチ見るとこれも対段丘面の堆積物であるというところをもって、
0:41:27	何て言いますかね、
0:41:30	M I S 5 e の堆積物っていうふうに多分評価してるんだと思うんですけども、
0:41:35	そのあたりともちょっと、
0:41:37	違いがよくわからなくてですね。
0:41:43	現状ないので、こう評価してるん、こう評価してるんだけど現状はないのでそれ、
0:41:50	その評価自体が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:52	なかなか確証を持って言えないっていうのであれば、
0:41:56	この星取表のところは正直な形でというか、実際の評価を変えて、
0:42:04	除外するのであればちょっとその現状ないからっていうところで、
0:42:09	確証を持って言えないからっていうところで、
0:42:12	はじくとか、
0:42:14	何かこの表整合的に、形で整理していただきたいなと思ったんですが、 ちょっと今の申し上げてるところで、
0:42:23	ちょっと認識に、
0:42:25	がおかしければちょっと
0:42:28	教えていただきたいんですけどもいかがですか。はい。
0:42:33	北陸電力の友田です。
0:42:36	今ほどカイダさんのご指摘ありました件につきまして、
0:42:40	まず断層と上載地層の関係、旧 A B トレンチが三角で、同じ現存しな い。
0:42:46	S E 部の掘削法面ですとか、
0:42:48	例えば S 4 の S 4 トレンチ、これも現存しないんですが今、断層と上載 地層の関係は 0 としております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:55	この違いというのは何かといいますと、
0:42:57	掘削法面ですとかS4 トレンチといいますのは、有識者会合時の評価と、その当時の医長の強化、特にバッティングしてないといいますか、同じ結論でした。
0:43:08	それに対しまして旧トレンチといいますのは当社の評価と、10社の評価が異なっていたと。
0:43:14	そういったことを踏まえまして、入社後以降追加検討を行ったんですが、その当時のイシダと当社の評価の違いという
0:43:22	そこが掘削法面、1000 トレンチと、旧トレンチとの違いと、
0:43:27	いうことで埋まると三角の違いと、現状しております。
0:43:31	またあの堆積物の年代につきまして、
0:43:34	例えばSES6のNo. 2 トレンチ、これ同じ中位段丘面ですが、マルAとしておりますのに対しまして、旧AB トレンチはマルBとしています。
0:43:44	この違いといいますのは、
0:43:46	例えばS1の堰堤左岸トレンチもマルBとしておりますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:51	現在定量的な評価を行いまして、改正欄9というデータが明確にえられているもののみ、マルAとしております。
0:44:00	そういった評価ができていないものにつきましては現在統一してマルBというふうに記載をさせていただいております。
0:44:08	現状の資料はそういったように構成しておりますが、
0:44:11	先ほど河田さんおっしゃったように、星取表の中で、後ろの方の記載との整合、そしてそれが現存しないからですとか、
0:44:21	そういったことが後ろの方でわかるようにするという指摘は理解しましたので、
0:44:27	今後資料の方、そのように修正は行いたいと思います。
0:44:32	以上です。
0:44:34	はい、わかりました。いずれにしてもちょっと読んでてあれと合っていないんじゃないかと思われ、思わないような、
0:44:43	表現の仕方で中身云々ではなくてこういったところをお願いしたいと思
0:44:49	で、
0:44:50	ちょっと、はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:44:55	規制庁谷ですけど、ちょっと私も関連なのか、ちょっと同じようなことを聞きたいんですけど、これって、この5ページ6ページとかに書いてある表の青で、
0:45:05	青でハッチングかけたところ以外っていうのは、これは、
0:45:10	活動性評価の根拠なんですか。そこをちょっと。
0:45:15	確かにこれが整合してるというか、カイダさんいましたけど矛盾してないよっていうようなことが書かれてるっていうのわかるんですけども。
0:45:24	それをもって活動性評価の根拠と、
0:45:27	してるのかしてないのか何か後ろの方のページを見ていくと何かその他の根拠とかって書かれてると思うんですけど、
0:45:35	これは、
0:45:36	青以外は根拠なんですか、確認させてください。
0:45:44	小栗辨野キムラです。
0:45:46	その他の、
0:45:48	根拠につきましてはちょっと、7ページの、例えばS1の評価の方ご覧いただきますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:56	一番下の四角ですね。
0:46:00	上載双方、南棟を、駐車場南東トレンチ及び鉋物脈を、H6.6-1孔、H6.75m12. 交通孔による評価の結果、S1の最新活動は、
0:46:12	上地段丘堆積物の堆積及びIS混合相当の生成以前であり、
0:46:17	その他の調査データについても、この評価と整合することから、MIS1に公表し営業の活動は認められないということで、その他のデータについても、
0:46:29	整合するというのも、この評価に用いております。
0:46:33	以上です。
0:46:35	規制庁丹治ですけど、ちょっと確認したいのが、何か私が言葉じりをちょっとちょっと認識が違うのかもしれないですけど、何かこれまでの、
0:46:46	審査の中では、これはもう根拠として使いませんみたいなことを言っていたようなところもあったと思うんですね。その辺は考え方が変わったんですか。それとも、
0:46:58	そもそもこれは根拠としての用いてたってことなんでしょうかその考え方が変わったのか、今まで通りなのか確認させてください。
0:47:15	言ってたよね今回の北陸電力の野原です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:20	基本的にこれまでの審査の中でも、この青でハッチングしたもの、これを根拠と用いております、
0:47:27	それにつきましては現在も考え方は変わっておりません。
0:47:32	ただそれ以外のハッチングしてないデータにつきましても、これまで示してきておりますので、
0:47:39	そういったデータでも例えば一つでも、上載層との関係でバツがついて いるとか、そういったものがありますと、
0:47:47	俺、
0:47:49	評価を出した結論
0:47:51	と矛盾してしまうことになりますので、これまで示したデータすべてを 示した上でその青で出した結論と矛盾するものではないと。
0:48:00	ということを踏まえまして最終的な各断層の活動性評価を行っている と、そういった位置付けで、この青以外のデータを用いております。
0:48:10	以上です。
0:48:13	規制庁の谷ですけど、青以外のデータも根拠とするっていうことはこれ までと変わってないっていう説明でいいんですか。
0:48:28	北陸電力の藤田です。今7ページの下のところを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:32	今説明しまししましたけども、まずは
0:48:37	S A 施設等駐車場南東トレンチが上載で确实年代等、形状OKですと、 脈についてもこの三つの項で、後期工事成功の活動がないってことは否定できているんですけども、
0:48:50	まずここで1回結論は出てると思ってましてそれ以外のデータについても、チェックを行った結果、矛盾ないってことを確認していると、いうことをちょっと古賀区長一つになってますんで、ちょっとそこが、
0:49:02	思いが伝わり切れてないのであれば、ここをしっかりとそういうふうな記載に、
0:49:06	会えるっていうことをちょっと検討したいんですがそういうご指摘というか、確認ということによろしいでしょうか。
0:49:13	規制庁の谷ですけど私がちょっと言葉にこだわり過ぎてるのかもしれないけど、根拠ってというのが活動性評価の根拠ってものの1個1個が、 どういう、このせん。
0:49:26	何て言うんですかね、整合しているからこれは根拠になるんだと、いうことを言っているのか何かその辺がですね、ちょっと話を聞いてて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:36	わかるようなわからないような、しかも今までの審査の経緯の中で、そういう話だったのかなってというのがちょっと、
0:49:43	私も整理したくなってきて聞いているので、何かちょっと考え方がですねよくわかるようにして欲しいなって本当にこれは、その他の根拠として1個1個か。
0:49:53	それ、それぞれの根拠何でように、それ、それぞれの、それぞれが根拠にもなっているように、こうとれるんですよね例えば737ページだとかって書いてると。
0:50:06	書いてることを見ると、明確に否定できるのがこの青で、それ以外はその他の根拠は何の根拠なのかははっきり書いてないですけどその他の根拠っていうふうな書き方してて、
0:50:17	何か1個1個の評価が、何か活動性評価の根拠になっているような印象を持ってしまったのでちょっと考えを確認したかったんですけども。
0:50:30	はい。谷さん、よろしいでしょうか。織田です。はい。どうもご指摘ありがとうございます。基本的な考え方は、これまでと全く変わって、我々は変わってないつもりでありまして例えば5ページで言えば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:45	青色の発注をした、このデータ、S1であれば、上載地層法1ヶ所、鉱物脈と、丸薬合わせて3ヶ所、この四つのデータが活動性評価の根拠データと考えてます。
0:51:00	その他の白色のデータについては、その根拠をもとにして評価した結果と矛盾がないことを確認しているという、こういう位置付けで、整理をしてくれておるつもりです。
0:51:11	ただちょっと、先ほどから日本語のところでいろいろ書きぶりで、ちょっと誤解を招くといいますか、若干、いろんなトレカ、とらえ方できるような記載が、
0:51:23	いろいろご指摘いただきましたので、この辺りはまたしっかり誤解されないような形で修正していきたいと思っております。私が今言ったような形で考えておりますが、これでどうでしょうか。
0:51:38	はいゆい案としてることは、はい。
0:51:42	お考えはちょっと確認できたと思いますので。はい。私の方は以上に1人です。
0:51:49	うん。
0:51:53	あ、規制庁のカイダです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:56	ちょっと5ページ6ページの表でも、もう一つちょっとこれ細かいところかもしれないんですけど大事なところっていうことで、
0:52:04	0
0:52:06	0Cなんですけど下の注釈で、
0:52:10	後期更新世以前に堆積した、後期更新世以降に堆積したっていうのが、
0:52:17	丸Cと。
0:52:19	で、後期更新世以前と、以前、以降が重なってるんですけど、
0:52:27	この12から13万年前っていうのが基準では大事な地層なんですけど、
0:52:33	12から13万年前の地層というのはこのAに入るんですか市に入るんですか、どちらなんですか。
0:52:43	帯電力キムラです。少しちょっと表現が悪かったところがあったと思います。Aの方が、12から13万年前以前に堆積。
0:52:54	生成したCの方が、12から13万年前以降に堆積生成したというふうに修正したいと思います。
0:53:05	はい、伊田です。
0:53:06	規制庁甲斐です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:08	今のご説明だと、12 から 13 万年前っていうのに入れ替えるっていうところ
0:53:14	いいと思うんですけど。
0:53:15	その以前以降っていうのをそ意が入るので、両方とも、
0:53:21	どっちなのかなというところも気になってるんですけども、そこは
0:53:27	つまり、12 から 13 万年前の地層っていうのはこのなんておかしいのかっていうのを確認したいんですが、
0:53:38	小栗電力キムラです。12 から 13 万年前の地層は、の方に入りますので、
0:53:45	C の方の表現を修正しまして 12 から 13 万年前より、後に解析生成したというふうに修正したいと思います。
0:53:55	以上です。
0:53:57	規制庁甲斐です。わかりましたそこはしっかりここは大事な分かれ目分岐点というか、分かれ道のところなんで、そこは
0:54:06	間違いないように表現していただきたいと思います。
0:54:10	そういった観点でいくと、最後の 5、6 ページの福浦断層ですかねこれは

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:54:21	堆積物の年代が丸栄。
0:54:25	ということで、
0:54:28	丸栄だから、12 から 13 万年よりも、
0:54:32	榎層、
0:54:34	んだということになると、以前ということで、
0:54:37	それが、
0:54:39	バツ、つまりは、
0:54:41	変形が認められる。
0:54:44	てということで、
0:54:47	12 から 13 万年より、これは 12 から 13 万年前も含むんで、
0:54:53	12 から 13 万年前の地層に、
0:54:56	変形が認められたということで見ればいいって言うよろしいんですかね。
0:55:03	小栗電力喜納です。津川ダム右岸トレンチにつきましては、
0:55:08	12 から 13 万年前よりも、古い地層が分布していると。
0:55:15	というふうに考えておまして、こちら高位段丘 I b 面にあたりますので、12 か 13 年前よりも古い地層が、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:27	切られているというふうに考えております。ただ、
0:55:30	そのトレンチの上の方の赤色土壌ですね。
0:55:34	赤色土壌が、
0:55:38	12 か 13 万年前の地層ではないかというふうに考えておりました、この地層も変形を受けていると。
0:55:46	ということから、
0:55:49	これ
0:55:50	後期更新世以降の活動が否定できないというふうに評価しておりますので、
0:55:57	評価としてはバツでマルAというふうにしております。以上です。
0:56:05	はい。規制庁の甲斐です。わかりましたさっきそのAとCが12から13万年前がどこに入るかっていうところで変わってくるので、
0:56:15	ちょっと確認したんですけども
0:56:18	12 から 13 万年前を含む地層に変形があると評価してるから、こういう表現になってると。
0:56:26	ということでええと、
0:56:28	確認しました。なのでONRCのところの表現というのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:33	ちょっとまた手直しをしておいてください。
0:56:37	で、
0:56:52	規制庁佐口ですけど、ちょっと今のガイダンの確認に関連してのコメント、それから確認をさせていただきたいんですけど。
0:57:02	6 ページの一番下の方の、
0:57:04	福浦断層っていうのは、
0:57:08	これ多分後ろにもう、
0:57:11	資料ついてるんですけど、
0:57:14	何ページだったかな、例えば、498 ページとか、まさに、こういうのですよね。敷地内断層とは違って、
0:57:24	そこの 498 ページだと、I S。
0:57:29	混合層、イライトスメクタイト混合層に変位変形を
0:57:33	与えているっていうだけで、実は I S 本郷層ってすごく古い時代の
0:57:41	ものですよねっていうのを多分今まで、
0:57:44	説明を受けてきたと思うんですけど、つまり、後期更新世以降の地層に変位変形を与えているのではなくて、
0:57:54	それよりさらに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:56	古い地層、さっきの 6 ページの、
0:58:00	これも第 4 あくまでも第 4 系って言うだけで、これ、前期更新世と か、いわゆるその中に 3 番目以降に、
0:58:09	変位変形を与えているわけではなくって、
0:58:13	それよりも、
0:58:14	ちょっと古いかもかなというような、
0:58:18	あとすごく古い 10M a でしたっけ、I S 今後想定。
0:58:22	これに、
0:58:24	うん、変形を与えているだけで、
0:58:27	なぜこれ後期更新世以降の活動が否定できないっていうふうにされてる のかがちょっとわからなかったの、そうじゃなくて、いやすごく新し い地層に、これは変形を与えてるんだよということであれば、
0:58:41	そういうふうにちゃんと書いていただきたいんですけど、そこを確認さ せてください。
0:59:00	北陸電力スモリです。
0:59:04	今ほどの 400、
0:59:08	489 ページの表でご説明いたしますと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:12	まず敷地内断層で見られているのが、イライトスメクタイト混合層に、
0:59:19	元を横断するところの白井とスメクタイト混合層に影響を与えていない と、一方、露頭での観察結果をもって、
0:59:26	先ほど木村からご説明しましたけども、活断層というふうに評価している 福田断層、同じそのトレンチで作成した薄片では、しました
0:59:37	福田断層の深部のボーリングで作成した薄片では、イライトスメクタイ ト応答に変形を与えていると。この点でまず、
0:59:44	敷地内断層との差別化という形で、同じ鉱物を対象に、変形の有無とい うところでいえると思っています。で、今ほど佐口さんからありまし た。
0:59:54	薄片観察で、
0:59:56	後期更新世の活動について、どう言及できるかというところも、
1:00:00	につきましてはまず露頭でというのが一つ大きなところでして、ただ一 方の薄片につきましても、
1:00:07	その横に粘土鉱物括弧ハロイサイト等に変形を与えていると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:11	<p>いうところを書いておまして、ハロイサイトにつきましては、年代等は、明確にはわからないんですけれども、比較的最近でも、できる可能性のある布田変質鉱物としてよく、</p>
1:00:22	<p>調べておまして、そういったものにも変位変形が、</p>
1:00:26	<p>見られていると、いうふうに考えておりますので、明確にこのだから、多くの申請以降の活動があるというところは、なかなか薄片だけでは言い切れないところはあるんですけども、</p>
1:00:37	<p>露頭でそういう後期更新世以降の活動が見られる、また県でも、</p>
1:00:41	<p>最近できた可能性のある変質鉱物に変位変形を与えているので、やはりそこで矛盾するような結果ではないというところは確認できているというふうに考えております。以上です。規制庁サグチですけども、</p>
1:00:53	<p>何て言うんすかね。差別化というのは当然わかるんですけど、あくまでもその文言だけだけなんですけどね。私はこの6ページの一番右下の後期更新世以降の活動が否定できないっていうのを、何をもって、</p>
1:01:06	<p>言ってるのかっていう、今のこの書かれてる文章だけだと、別に後期更新世以降の活動じゃないようにも見えるんですよっていうだけのその文言の話で、で、</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:19	あくまでもその敷地内とは違うよという差別化という観点では、当然、わかるんですけど、その後期更新世以降の活動が否定できないってこの文言だけなんですけど。
1:01:32	それに資するデータが何かどこかにあるのかなって確認だけなんですけど。
1:01:41	はい。北陸電力の羽田です。
1:01:44	今ほどの福浦の最後の結論を聞く人生以降の活動が否定できないという結論を、資料上これを残すとすれば例えば福浦の上載地層法の方、今、バツ、マルAとしておりますが、
1:01:58	例えばバツ、マルA0Cと併記するですとか、
1:02:01	鉱物脈の方でも、先ほどスモリが言いましたように、ISだけではなくて、最近でも生成し得るハロイサイトという文言を入れるですとか、
1:02:11	この右の結論、しっかり導けるような内容を、この一覧表に加えるよう修正したいなと思っております。以上です。はい。規制庁佐口です。
1:02:23	繰り返しになりますけど差別化という意味ではわかりますので、あくまでもここの表現だけに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:29	対するそのエビデンスがちゃんと資料にあるかっていうだけの、私はコメントですので、何か何かあればちょっとお願いします。
1:02:41	はい。
1:02:43	北陸電力の藤田です。この今日の中でちょっと矛盾があるような表現を避けるように修正しますんで、よろしくお願いします。
1:03:02	規制庁のカイダ、その辺りまた確認していただいて、必要があれば修正等をお願いします。
1:03:11	引き続いてですね
1:03:13	等、
1:03:15	追加、今回
1:03:17	有識者会合以降とか、この申請案、申請以降とか、
1:03:24	随時調査をして、追加データが、
1:03:28	増えていったというところかなと思うんですけども。
1:03:33	そのあたりがちょっとどれが新しく、具体、有識者会合以降に、
1:03:39	追加されたのかとかいうのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:03:43	ちょっとわかりづらいところもあってこれ資料で、こうだよっていうことであれば、教えていただきたいしそうでなければちょっと明記していただきたいんですが。
1:03:53	例えば、771 ページを、
1:04:00	見ていただいて、
1:04:02	有識者会合の評価を踏まえたデータ拡充というページがあります。
1:04:09	今データとして有識者会合のときにはこうですというのが左にあって右側に赤いところは、
1:04:15	鉱物脈法とか上載地層法、
1:04:19	追加、
1:04:20	うん。要は赤字が追加データ。
1:04:24	いうところなんですが、
1:04:26	よく見ると、
1:04:28	この赤字以外のところもたくさんデータが、
1:04:32	増えててですね。
1:04:35	わかりやすいところで言うと、No. 2 トレンチの辺りは、
1:04:41	赤字とかで示してないんですけど、黒い丸がたくさん増えてたりとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:46	何、35メートル盤トレンチっていう赤い、
1:04:50	文字の辺りも、斜めボーリングみたいなのが増えてたりとかあと、
1:04:56	ほかにもいっぱい増えてるんですねこれ。
1:04:59	これ、追加で一た。
1:05:01	ていうのがたくさんあるように見えるんですけど。
1:05:05	これもう流域社会5より後に追加したデータということで、
1:05:10	じゃないのかというところなんですけど、これ
1:05:15	ちょっとそこのまず説明をお願いしたいんですけど。
1:05:23	北陸電力喜納です。771ページ、今おっしゃられた通り、ボーリング 等、
1:05:32	追加したものは、多くありまして、この中で、赤字で特に取り上げて、 甲斐書きましたのは、
1:05:43	活動性評価に根拠として使った、
1:05:47	ものを赤字として示しております。
1:05:53	なので、
1:05:57	それ以外の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:58	追加したデータっていうのはちょっとわかりづらくなっているところも ありますので、その辺、もう少し
1:06:06	図を工夫して、わかるように、
1:06:10	したいと思います。
1:06:14	以上です。
1:06:17	はい規制庁のカイダです。
1:06:19	そうですね今回有識者会合があつてそれ以降、
1:06:26	データを追加して、
1:06:28	それとは違う評価をされるということなので、
1:06:32	ここの 771 ページにあるのは最後の最後の行決め手となったところだけ だと思うんですけども、
1:06:40	そこに至るまでにいっぱいいろんな調査をして、その上で評価をこうし たんだっていうのであればそこはちゃんと
1:06:49	追加データというのがわかるような形で表現していただきたいんです ね。で、771 ページに、
1:06:56	これ全部表現していくと、もうわかりにくくなるかもしれないので1枚 では、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:02	済まないかもしれないですけど、
1:07:04	このページに来るまでの間にこういる各々の場所の調査地点の、
1:07:10	調査結果の説明とかありますけれども、
1:07:13	そういったページで、これは後から掘ったボーリングだとかここは後から追加した。
1:07:19	もんなんだってというのが、
1:07:21	わかるようにした方が、いいかなというふうに、
1:07:27	考えてます。
1:07:29	で、
1:07:33	例えば
1:07:36	F D S 6 でいうと、さっきの話と同じかなと思うんですが、612 ページ。
1:07:43	とかで、
1:07:50	112
1:07:56	どっかに 3 本 3 本のボーリングを追加したっていうのがあってそれが、
1:08:03	3 本のボーリングを追加したのが、
1:08:08	ちょっと探し切れないんですけど。へえ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:10	メディア。
1:08:15	戸高。
1:08:21	639 ページ。
1:08:25	とかで、
1:08:30	010203 というこれ多分、
1:08:33	結城記者の指摘を受けて、こういった、
1:08:36	①②③を掘りましたっていうことだと思うんですけどさっきの 771 ページだとこれは追加データとなっていないわけですね。
1:08:46	だけどこれはこれでちゃんとSESロックのなんんなんか活動性を、
1:08:52	判断するために使ってるわけなのでまあ、
1:08:56	こういったのも
1:08:58	その都度ちゃんと説明の中で、
1:09:01	このデータは、
1:09:04	ちゃんと後から撮ったものなんだっていうのを、
1:09:06	わかるようにしていただきたいなど。
1:09:10	思います。あそこは今先ほどやるってことだったので、
1:09:15	お願いしたいのと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:17	あとその視点だけじゃなくて地底を減らさなくてデータをふやしたようなやつもありますね例えば 617 ページ。
1:09:29	ここ
1:09:31	データを、走向傾斜のデータをたくさん取って、
1:09:39	層理面の傾斜の方向を解析するっていうことで、
1:09:43	これ今、
1:09:45	層理面傾斜方向測定位置という赤丸のやつが、
1:09:49	全部で 70。
1:09:53	76 あるんですけど、
1:09:56	これ、有識者会合のときはこれ、51 まであったんですよ。で、
1:10:01	この場所自体は、No. 2 トレンチっていうのはもともとあったけど、データを追加して、51 が 76 になったっていうのが、
1:10:11	やっぱわからなくてですねどこを見てもそのわからなくて、
1:10:16	しかもこれちょっと番号が前とずれてたりして、
1:10:21	これいつ追加になったのかちょっとわからないんですが、
1:10:25	2 年ぐらい前の審査会合のときはまだこれ 51 だったのが、多分前回の資料ぐらいから増えてたりするので、その辺りも

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:35	地点、調査地点は同じなんだけど、追加で、
1:10:39	こういった形でデータをふやしたというのあれば、それもわかるように資料に明記していただきたいと。
1:10:46	思うんですが、
1:10:47	そこはよろしいですか。
1:10:55	答弁連絡キムラです。
1:10:59	今カイダさんおっしゃる通り 617 ページの層理のデータですけども、いう社会を次から追加しておりますので、
1:11:10	追加した、ということがわかるように、
1:11:14	しっかり資料に、
1:11:17	示したいと思います。
1:11:19	以上です。
1:11:21	はい。規制庁甲斐です。そこはよろしくお願ひします。たくさんデータをふやしたんだという、
1:11:28	それがどれかっていうのは S2S6 とか、先ほど申し上げたところ以外この資料全体を通しての話なので、
1:11:36	その点はよろしくお願ひします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:40	で、
1:11:43	ちょっとまた別の観点での確認をさせていただきます。
1:11:48	で、ちょっとページ戻っていただいて 39 ページ、今回追加された、
1:11:58	これ自体は前からあったのかな 38 ページ 39 ページ。
1:12:03	の反射断面で、
1:12:05	花崗岩状面っていうのが、
1:12:09	書いてあると。
1:12:12	で、今回
1:12:16	データ集追加されて、
1:12:20	このボーリング柱状図と写真を出してくださいということでお願いしてデータ資料が出てきました。
1:12:27	ちょっとこれの、
1:12:29	この柱状図とかと、この 38 ページ 9 ページの、
1:12:34	考え方について確認したいんですが、
1:12:39	39 ページとかを見ると、この強い反射面があってそこが花崗岩状面、
1:12:45	だと、それがだーっところ、平になっていいるような様子が書かれていて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:12:53	花崗岩状面っていう表現。
1:12:55	ではあるんですが、
1:12:58	柱状図
1:12:59	データ集 1 の、
1:13:03	10-20-3 ページを見ると、
1:13:07	この花崗岩の上面歴がんと境界っていうのは、
1:13:12	これ結構立派な断層なんですよ、破碎部っていうか、
1:13:17	断層境界であって、
1:13:21	ボーリングでは少なくともただ単に不整合面というか、基盤の上面をと らえたっていう。
1:13:27	データにはなくて、
1:13:30	それでもこの反射面 39 ページの反射面見るとしっかり、何か、
1:13:36	背斜面がついてるので何かの、
1:13:38	境界があるのはわかるんですが、
1:13:41	これ、実際は断層なんだけど、この 39 ページのような形で解釈したっ ていう。
1:13:49	ところの、何か、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:51	根拠とか、考え方っていうのを、
1:13:53	確認したいのと、その辺は資料で何かわかるように、
1:13:59	表現とさせていただきたいと思うんですが、
1:14:02	このあたり、いかがでしょうか。
1:14:14	はい。北陸電力木村です。
1:14:17	このまず、コアの柱状図で、粘土状破碎部、
1:14:25	藤瀬さん細部っていう記載があるところが、ちょうど花崗岩とべきが んの境界になって、
1:14:34	おりました、
1:14:35	これ、断層かということなんですけども、まず、
1:14:41	コア写真
1:14:44	を、データ集の2の方に、
1:14:47	つけておりました、
1:14:50	11-20-3 ページですね。
1:14:57	で、これ見ますと、
1:15:05	写真の
1:15:09	下の方ですね、1012 件、1202.55 から 1203 点。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:17		40
1:15:19	もう	
1:15:21	コアのちょうど真ん中辺りが境界というふうに考えておりまして、そこ、	
1:15:30	を境に、上が瓦れきが、下側が花崗岩というふうに見ておりまして、この境界が	
1:15:40	粘土状破碎部というふうに記載しておりますけども、	
1:15:44	これ、コアを見ますと、非常に低角でありまして、	
1:15:54	地層境界で、少し滑った可能性ありますけども、非常に低角でありますので、断層んではなくて、ちょっとした、	
1:16:05	古い滑り面ではないかというふうに見ております。	
1:16:10	越冬	
1:16:13	この震度が、	
1:16:15	1000、	
1:16:16	200、	
1:16:18	3.05 と。	
1:16:21	いうことで、	

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:23	ここは花崗岩状面であるというふうに評価をしております。
1:16:29	なのでこの花崗岩状面、
1:16:33	の力がんと境界のところ、少し滑った可能性はありますけども、ここが過去頑丈面、
1:16:43	間違いないだろうということで、そのように評価しておりまして、それが後ろの方に、
1:16:51	やっぱ 37 ページ以降に、
1:16:53	つけております。
1:16:55	V S P
1:16:56	本社保護。
1:16:58	た。
1:17:00	と整合しているかということ、
1:17:03	チェックして、この加工面上面深度というものを決めております。
1:17:14	よろしいですか。
1:17:17	はい、規制庁カイダですか。すみません、36 ページ。
1:17:22	の方で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:25	この項を使ってP S 検層を用いたP S 建設を実施した結果を載せておりまして、
1:17:32	この花崗岩震度っていう上限深度っていうものがP S 検層、
1:17:37	の結果とも
1:17:41	整合しておりますので、ここが過去萬上面深度であるというふうに評価もしております。
1:17:48	以上です。
1:17:52	はい、規制庁のカイダです。
1:17:54	検層とかされていて、あと、反射面もあるので、
1:17:59	この深度にそれなりの種
1:18:02	何とか物質境界があるっていうのは、
1:18:05	わかりますんで、
1:18:07	先ほどのご説明だと 1203 点。
1:18:12	05 っていうのが、
1:18:14	花崗岩の上面で、
1:18:17	写真を見ると、50 センチ各館ぐらい。
1:18:22	花崗岩があるのはこれは何なんですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:27	歴か何かっていう、そういう、
1:18:30	エレキがんの中に、
1:18:33	滑り面があるっていうそういう今解釈なってるということでしょうか。
1:18:44	すいません。祈願と、花崗岩の境界が滑り面になっているというふうに解釈しております。
1:18:53	はい規制庁の改善、ちょっとあれですか。
1:18:56	コアの端っかが00じゃなかったんですね。はい。
1:19:00	わかりました。ただ、ちょっとこの辺りもですねこの柱状図とか、この写真と見比べて、
1:19:08	もうずばっとこう何も言わずに、花崗岩状面という案もあったかも。不整合っっちゃうか非整合。
1:19:15	というような形で、
1:19:16	あると。
1:19:18	何か誤解を招くところもあるんでそのあたりの説明っていうのは、やはり必要かなと思いますので、追加をしておいていただきたいので、よろしいですか。
1:19:34	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:35	はい北陸電力の野原です。今ほど木村が説明したような内容資料に織り込んでわかるようにしたいと思います。以上です。
1:19:44	規制庁谷です。関連なんですけれども、北陸電力って前、CMだとかそういう用語を使ったりして、何か、
1:19:54	今野断層という言葉っていうのが変成があると思うんですけど、それで言ってもこの柱状図で書いてある。
1:20:02	固結した破碎部とか、粘土状破碎部っていうのは、今の評価で使っている言葉と同じ。
1:20:11	分類で言ってこの記載になってるってことで、
1:20:15	いいんですかね、ここの柱状図の記載っていうのは、
1:20:21	北陸電力木村です。柱状図で、個別破碎部というふうに記載あるものは、今の敷地内のボーリングの基柱状図の記載と同じ。
1:20:34	いろんな見方で書いておまして、変形構造が見られるですとか、少し細粒化しているとか、そういったもの部分について、個別破碎部、
1:20:45	破碎部という記載をしております。
1:20:49	それが連続する断層であるかどうかということにつきましては、
1:20:54	先ほど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:58	言っていた 12.0。
1:21:02	3 点。
1:21:03	間瀬 1200。
1:21:07	3 メートル付近の花崗岩、
1:21:10	等できまんの境界については計画であるということから、これが連続する断層というふうには考えていなくて、
1:21:21	不安滑りん地層境界で滑った面であるというふうには考えていると。
1:21:27	その他の面、は、破碎部についても固結しているということから、
1:21:36	連続するような断層ではなくて、少し
1:21:41	古い、
1:21:43	時期に破碎を受けたものを、
1:21:45	が今固結して岩石化していると。
1:21:48	いうもののうんいうものであるというふうに見ております。
1:21:55	はい。以上です。はい。規制庁谷です聞きたかったことは確認できました。
1:22:00	さっきから滑ってるっていう言葉を使ってるんですけど滑ってるっていうのをどう、どういうイメージで言ったらいいんですか。す。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:22:26	地層境界で、重力性の
1:22:31	移動ですとか、そういったものではないかというふうに考えております。
1:22:40	はい。規制庁谷です。ちょっと、はい。確認をここまでにして、これあとですねちょっとこれ興味本位で聞いているんですけど。
1:22:47	これ、あれですか。もともとこの1200メートルぐらいでスポットボーリングを取るっていう計画があって、そこでボーリングしたらたまたまこの地質境界が見つかったっていうことなんですかそれともここに地質境界ありそうだからって言うてここ、
1:23:02	合わせて持って行ったんですか。
1:23:09	北陸電力の西本です。
1:23:13	またですね、計画としては地質の層上ですね、岩相の
1:23:19	上から、
1:23:21	安山岩があって3案と頁岩のゴソウがあって、中子があるというそうだった大まかなJIS層序を把握するために、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:32	100メートル単位でスポットコアをしたんですけれども、加古川の上限がここにあるからとかっていうところではなくてたまたまとらえてたということです。以上です。はい、ありがとうございました。
1:23:44	すごく、綺麗に境界捕まえてすごいなと思いましたけど。はい。確認以上です。
1:23:55	規制庁のカイダです。
1:23:56	で、
1:23:58	今のことに、この反射法の関連することで、35ページに結果、
1:24:05	敷地の地質地質構造の大局的なこと。
1:24:09	調べるためにやったってような、
1:24:13	結果花崗岩状面に相当する反射面に変位を与える断層はないと。
1:24:18	というようなところは書いてあるんですけれども、
1:24:22	例えばこれが
1:24:25	何て言いますか、今見てる。
1:24:27	S、S、S1とかS2とか、
1:24:31	というものが申したから、
1:24:34	来てるもんじゃないんだとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:36	そういったところに結びつけたような形の、
1:24:40	やっぱ、ずばり書いてるような説明は特にはないんですけど、あくまで敷地全体の地質構造として、こうだという説明なんですけど。
1:24:51	このデータっていうのは、
1:24:53	そういったところには特に使わない、大局的な地質構造としての説明で終わってるということで、それ以上のことあんまりいなんか研究、
1:25:05	が難しいから、そうしてるのか、ちょっとその辺りのお考えも、この
1:25:11	金なんていうか探査結果の、
1:25:13	扱いについても確認したいんですけども、いかがですか。
1:25:23	はい、そのP電力ノハラです。
1:25:27	35 ページに書いてあるのはこの一章ということで、敷地の中の花崗岩が概ね水平ということをおっしゃっていますが、
1:25:37	例えばその敷地内断層の関係というところは、ちょっと所を変えまして、712 ページ。
1:25:44	の方になります。こちらの5.4 章という敷地内ダート敷地うんの広域的な検討というところで、
1:25:51	になりますが、この712 ページには先ほど示したその反射とV S Pの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:57	断面に、
1:25:58	青字で敷地内断層の位置、江藤を書いております。
1:26:02	例えば、ここにSGTSが2S26と書いてありますが、これが地下深部から連続するようなものでありましたら、
1:26:09	例えばこういった、これをそのまま下に延長していったときに、花崗岩上限をずらすような、
1:26:15	段差になりうるかもしれないんですがそういったものはないと。
1:26:19	そういった主張は、このページで言っております。
1:26:23	以上です。
1:26:27	はい。
1:26:27	規制庁のカイダです。
1:26:30	712 ページも見てはいたんですけど、なんかちょっとあくまで福浦とか、兜岩沖との流れで来てるので主にそっちの説明かなと思ってたんですが、
1:26:43	そういった敷地内のSKの断層も下から来てないという根拠に使うんであればその辺りも、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:51	何ていうかちゃんと言葉で書いておいたほうがわかりやすいかなと思 い、思った次第です。
1:26:57	そこはお任せします。
1:27:00	それとあと、712 ページってこれ両サイド、兜岩沖断層とか福浦断層、 ここから、特に兜岩沖の方なんて、
1:27:10	監査記録があると思うんですが、ここは何か、
1:27:14	白抜きじゃなくて、
1:27:16	つけるようなことはできないんですか。
1:27:20	はい北陸電力の原です。阿部轟断層の辺りの音波探査につきましては、 例えば同じ資料で言います。
1:27:36	718 ページ。
1:27:38	などが、兜岩沖断層付近の音波探査機になりますが、
1:27:42	これを見ますと、進路、
1:27:46	が、
1:27:49	この 200 メーター。
1:27:51	200 メートルぐらいまでしか、
1:27:58	200 メートルぐらいまでしかとらえてない音波探査になりますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:01	712 ページに重ねるとほんと上の方に少し小さく、
1:28:07	映るような、
1:28:09	記録になります。特に
1:28:12	あることは事実ですので、そういったちょっと規模感が違いますが、
1:28:16	712 ページされたカーブというのを、記録も重ねることは可能ですので、
1:28:22	ちょっとそれ
1:28:24	右田含めて検討してみたいと思います。
1:28:31	はい、規制庁の改善。
1:28:33	ちょっと今見せてもらってひよっとしたら深い探査でもやってるのかなと思ったんですけど、浅井やすでこう、こうちょっと縮めて書くと逆にちょっと、
1:28:46	わかりにくくなるので、
1:28:50	ちょっと確認はしたんですけども、
1:28:52	ちょっと
1:28:54	ちょっと試しにやってみても、いただいてもいいんですけど、
1:28:59	ちょっとあまりこういうコーナーデータではないんだったらそこは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:03	入れなくても、構いませんので、
1:29:07	党派の状況はわかりました。
1:29:12	いいですか。
1:29:14	北陸電力の仲です。
1:29:19	試しに漏えい資料の方検討してみたいと思います。はい。以上です。
1:29:26	規制庁の松田です。ちょっと先ほどの大深度のボーリングの柱状図についてちょっと私の方も、
1:29:34	ちょっと確認したいんですが、
1:29:39	示されたコア写真と柱状図の記載を見ると、
1:29:45	破碎台湾に、
1:29:47	1202.78 から、
1:29:51	03.18 までが破碎部だという、
1:29:55	コア写真で見ると、
1:29:58	花崗岩の所、トップである。
1:30:02	03.05 からもう 10 数センチ下まで、花崗岩が何かごちゃごちゃともめて るようなところまでが破碎部だという。
1:30:12	柱状図の記載になってるんですけどその認識でいいですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:29	北陸電力木村です。
1:30:32	花崗岩の上限が 1203.05 で、
1:30:36	そのルール側については、1202.78 からなんで、
1:30:44	20 センチ、
1:30:46	ぐらいが破碎部で、花崗岩常務より下、下側については、
1:30:54	1203.18 までなので、10 センチ程度が破碎部というふうに見ていると。
1:31:01	ということでございます。
1:31:04	以上です。
1:31:05	マツスエです。破碎部は、
1:31:12	うん。
1:31:12	れきがんと花崗岩の両方にわたって破碎部があるという、
1:31:17	記載。
1:31:19	という認識でいいですか。
1:31:23	そうです。はい。
1:31:25	その通りです。はい、わかりました。あともう 1 点ですけど、藤さん。
1:31:30	36 ページ。
1:31:34	の方の P S 検層の結果で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:31:38	花崗岩トップの標高がマイナス 1190 メートルと。
1:31:45	これを記載して評価されてるんですけどもこれコア、コアと深度が 9 メートルずれてるのはどうか、どういった後、
1:31:56	事情なのか、ご説明いただけますか。
1:32:03	北陸電力の西本です。
1:32:06	えっとですね 36 ペイジーに記載してある標高はですね、柱状概要図ということで、P S 検層との比較を目的としておりまして、その P S 検層の結果を用いて、
1:32:20	地層標高を決定しております。
1:32:23	そういったケース検層を基にして引いている標高と、柱状図と実際の柱状図というところで、若干ずれが生じていると。
1:32:32	いうところでこの柱状概要自体は、P S 検層の比較を目的にしたライオンズであるということでそういった表現をしております。
1:32:40	以上です。
1:32:56	後段常務
1:32:59	S E、一応、
1:33:04	10、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:05	ボーリングで、
1:33:07	こういう断層って出てきても出てない。
1:33:09	思った。
1:33:10	甲田。
1:33:15	でも、
1:33:30	戸松です。心労の違いについてはあくまでも柱状概要図だという。
1:33:37	御説明については確認しました。以上です。
1:33:56	あ、えっと規制庁のカイダです。
1:33:59	ちょっと
1:34:02	引き続きの確認です。で、
1:34:04	40 ページをお願いしたいんですけども。
1:34:08	これ以前も何度かお話してたと思うんですが、
1:34:14	今反射法地震探査を、
1:34:19	やってて、それは
1:34:22	あくまで、
1:34:23	福浦断層の調査っていうことで、やることはやるんだけど、敷地の中も 通るんで、これは敷地内の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:32	地質構造の説明とか、そういったところでもちゃんと示して説明していただきたいというふうに、
1:34:39	申し上げてたと思いますんで、
1:34:42	これ、現在、解析実施中でその結果は、近傍の断層評価で説明を行うという。
1:34:49	ことなんですが、
1:34:52	解析を実施しててこっちではもう説明はないのでしょうか。
1:34:58	近傍の方だけじゃなくてこっちでも説明が、
1:35:02	入るのかなと思ってたんですけども、
1:35:06	そのあたりはどうなんでしょうか。
1:35:11	はい。北陸電力の野原です。
1:35:14	現在測線を先行して解析を行っておりますが、当然これクロスするように、福浦断層を横断する他の作成もありますので、
1:35:26	現在他の測線も含めて、整合をとりながら解析を進めております。
1:35:33	その解析が完了しましたら、この敷地内の方の資料には、敷地内を通る測線、
1:35:39	というものはこの敷地内の方の資料でお示ししたいと思っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:43	D測線も含めた他の全体の測線につきましては、敷地近傍の資料のほうで説明させていただきたいと、そういうふうに考えております。
1:35:52	以上です。
1:35:53	はい、わかりました。今ここに書いてある、
1:35:57	※※で書いてあるのはちょっと覚書みたいなものであって、ちゃんと
1:36:03	ゆくゆくはここに入るといことで、それを踏まえて、いろいろ検討されるということ、
1:36:10	承知しました。
1:36:13	そしたらですね、
1:36:15	と、
1:36:16	ちょっとかなり飛ぶんですが、
1:36:21	500、
1:36:22	今回、また追加されたもの関連ですけど、501 ページ。
1:36:31	あ、福良断層との比較っていう敷地内断層との比較。
1:36:36	ということ、
1:36:38	例えば 501 ページとかは追加されたのかな。
1:36:46	で 501、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:48	ページのほか、
1:36:51	今後、
1:36:55	500、
1:36:59	もうちょっとわかりやすいのは、
1:37:01	と。
1:37:05	例えば 507 ページとか、どこでもいいんですが、
1:37:12	前回
1:37:15	Y面というかせん断面を横断し、
1:37:20	活断層のはずなんだけど、
1:37:22	ちょっとオーダーしてるようなものがあるんじゃないかっていうところ、そこを詳しく示していただきたいということで、
1:37:31	そうか具体的に申し上げたのは 511 ページのところですね。
1:37:37	で、
1:37:38	これで追加になって、スケッチとかついてきて、
1:37:43	Y面の不連続箇所とか、他のページに先ほどの 507 ページとかでも、
1:37:49	局所的な不連続箇所っていうのが、
1:37:52	ということで、やっぱりその、そこは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:55	せん断面が繋がってないっていう。
1:37:58	ことで示されてるんですが、
1:38:01	そうなるとう結局この不連続箇所っていうところっていうのは、
1:38:06	粘土鉱物みたいなものが、
1:38:09	埋めてるっていう。
1:38:11	ことになるんですかねこの不連続箇所というのも観察した結果として、 不連続であるっていう、それとわかるんですけど。
1:38:20	この不連続っていうのは何なのかっていうのをちょっと説明。
1:38:24	いただきたいんですね。はい。結局後から埋めたものであるのかとか、
1:38:30	実際面はあるんだけどこう見えづらくなってるだけなのか。
1:38:35	ただ、
1:38:37	なんですかねここにP面とかある場面とか全体にあるんで、実際は何かず れがあったん。
1:38:43	だけど見えなくなってるん。
1:38:46	のようにも思うんですけど、少なくともこの不連続っていうのはわかる んで、それは何なのかっていうのをちょっと今のほど、今お考えがあれば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:56	期待し、それを資料に反映いただきたいんですけど、これ
1:39:02	鉱物脈法が、
1:39:04	このサイトで、
1:39:06	適用できるんだという裏付けに、結構重要なものなのでそこはお願いしたいんですけど、いかがでしょうか。
1:39:17	はい北陸電力スモリです。
1:39:19	まず前回のヒアリングで、カイダさんからご指摘いただきましたのが、
1:39:25	そうですね 511 ページの 100 円で、もう例にご説明いただきましたけれども、
1:39:31	多分特に右から、
1:39:33	一番右とその少し左のところの、各園で今矢印で不連続箇所というふう に上、上の方に矢印指している二つの、
1:39:41	上から二つ目の黄色。
1:39:43	破線の丸ですねこの辺りを、ご指摘いただいて、
1:39:47	不連続なってるように、白っぽいものが横断しように見えると、ここを ちゃんと観察して示してねっていうようなご指摘をいただきまして、こ ういうところを他の派遣も統一的に観察しまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:00	やはり部分的にはこういったもの、不連続になっているところが見えておりました。で、また敷地内断層と大きく違うところとしましては、やはりこのように複数あるY面のうち、
1:40:12	こういった不連続っていうのは局所的に部分的にはあるんですが、上から下まで一本通っているっていう概念が、さらに複数あると。
1:40:21	落合断層につきましては複数場面があったら、いずれも不連続になっている箇所があると。
1:40:26	いうところで、
1:40:28	の大きな違いが、まず福田断層と敷地の断層ではあると思っております。
1:40:33	ではこの不連続箇所がどうやってできたのかというところの解釈につきましては、
1:40:37	この露頭で作成した、
1:40:43	502 ページ以降の薄片ですと、まず露頭なので、
1:40:50	風化変質等の影響も受けていると、なので比較的最近、そういう風化変質の影響によって、部分的に不連続になった可能性もあると思っておりますし、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:41:00	いずれもP面ある場面と、顕著に見えておりますので、本当部分的にここは、
1:41:06	ここで動いたのが、少し前のだけで、すぐ横の面を使って、そのあとに動いてるかもしれないと。
1:41:12	そこは1本通ってる場面があったらそこを使って動いた可能性はもちろん否定できませんので、こういったところを通して、最近、
1:41:21	比較的最近の活動があったのではないかとということも解釈してございます。
1:41:26	なんで不連続箇所の子につきましたは、
1:41:32	当時の変質ですとか、最近のその変質、また
1:41:38	熊井の1本を通ってる、度合い面を使って最近の活動があったんではないかと、そういうような解釈もしてございます。
1:41:44	以上です。
1:41:49	はい。規制庁のカイダです。
1:41:52	そのあたりはどこかに書いていただいて、
1:41:57	敷地内断層で、せん断面が途切れさせているものとは、
1:42:03	こういう、これは違うんだっていうのが、やっぱり説明を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:09	わかるような形で説明を、
1:42:12	していただきたいので、今ほどおっしゃったような考察を、
1:42:17	書いておいていただきたいので、
1:42:19	よろしくお願いします。
1:42:23	はい、承知いたしました。
1:42:32	最新面じゃないっていう。
1:42:42	規制庁タニですけど、
1:42:44	何か今の説明を聞くとですね、
1:42:48	いわゆる本当の最新面じゃないところで途切れてるんだっていうような、ちょっと説明に聞こえたんですけども、これって、この福田断層にかんしては
1:43:00	最新面はここだみたいなのはこう書いてるんですかそれともこの赤の部分は全部最新面に相当するようなものって思ってるのかっていうのを、
1:43:10	ちょっと確認させてください。
1:43:14	はい。北陸電力津守です。福田断層につきましてはこれが明確に最新面だということはなかなか決めがたいと思ってまして、いずれ、どれが最新面であってもおかしくないというような、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:26	そういうふうに解釈するので最新面という記載はあえてしてありません。以上です。
1:43:31	規制庁タニそういう考えがもとになってるっていうのはわかりました。それで、何かさっきスケッチでずっと上から下まで通ってるようなね。
1:43:42	面があるっていうような話をされてましたけど、これって多分薄片全体を通して、そういった面がずっと通ってるから、だからそういったところ、途切れないようなところ、怖い面があるんだよっていうような、
1:43:55	説明なのかと思うんですけど、多分今の資料ではですね、いきなり薄片がポンと来て、順々にこう大きくこうしていないもんだから、何ていうんすかね。
1:44:08	いきなりこうこの部分はっていうような感じで説明されているので、何かその辺の説明がいまいち、僕らもわからなかったっていうところもあって、
1:44:18	考えてることありました資料にちゃんと入れていただけたらと思って、補足的な話です。
1:44:28	はい。北陸電力津守です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:30	今田さんおっしゃられたことを変えまして、敷地内断層ですと、全体写真を大きくしてポンポンと載せて、全体の解釈といたしますか全体でどう いうふうに観察されているというところも、
1:44:42	示しておりますので、試験、福田断層につきましても同じような観点 で、整理させていただこうと思います。以上です。
1:44:53	はい、規制庁のカイダです。
1:44:58	この福良断層との比較に関してもう1点だけ確認です。
1:45:03	例えば501ページ等、全部のページ、全部の観察結果なんですけども、
1:45:12	下の箱書きとかに、
1:45:14	明瞭なY面や引きずり等の変形で、あとは、
1:45:19	5行だとかという、書いてあります。他のページも同じような文言が書 いてあるんですけども、
1:45:27	Y面がありますとか、複合面構造がはっきりわかりますっていうのは写 真中にこう、
1:45:34	示してあるんですけど、
1:45:36	あと写真とかスケッチにですね。
1:45:38	ただ引きずりの変形。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:41	ていうのは、写真にもスケッチにも、
1:45:44	ここはそうなんですよみたいなのが、特に明記されてなくてですね。
1:45:50	おそらく写真見るとこうなんだろうっていうなところは見当たりはするんですけど、
1:45:56	ここをこういうふうに見て、
1:45:58	引きずりとかなんだっていうの。
1:46:01	評価して考えてますっていうのがわかるような、全部じゃなくても、ここですみたいなのを示していただきたいんですが、それが
1:46:10	エスワンとか等の違いっていうことだと思うのでそれも大事な情報なので書いていただきたいんですが、よろしいでしょうか。
1:46:20	はい。北陸電力津守です。
1:46:22	例えば 501 ページで言いますと、深谷さんおっしゃられたように、我々解釈としましては、明瞭なワインや引きずり等の変形というのは、例えば一番右の拡大写真で言う、
1:46:32	緑の矢印の Y 面ですとか、青の P 面、赤の R O N E 面、こういったところで、そういうのが見えるというよというふうに示しているつもりでは

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	あったんですけども、今ほどカイダさんおっしゃられたように、このP面の、
1:46:44	こういうところをそう見てるんだよというところが、もう少し踏み込んだような、さして、この構造がそうだよっていうところはやった方がわかりやすいように確かになると思いますので、
1:46:54	例えばこれでいいますと、右上、
1:46:59	ちょっと開いてる開口部の右側にPが二つありますけれども、上と下に平行に並んで二つありますが、例えば下のP面のようにこういう白い筋が、
1:47:09	ひざの場面に対して斜交して、引きずられて見えると、例えばこういうところをもって、明瞭なP面と、いろんな引きずり構造というふうに考えておりますので、こういったところを指して、わかるように、
1:47:20	お示ししたいと思います。以上です。
1:47:24	はい。規制庁の甲斐です。ではその点よろしくお願いします。
1:47:28	引き続き上載地層の評価というところで、確認をさせていただきます。
1:47:36	559 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:44	で、これは駐車場南東方トレンチってところで、エスワンが上載地層で、
1:47:51	止められてますよっていう、大事な露頭の情報ということで、
1:47:57	確認さしていただきたいんですが、
1:48:01	これ、車スケッチをですね、よくよく見ると、
1:48:07	西壁面も東壁面も、
1:48:11	実はそのせん断面、主せん断面というのが、基盤の上面までは行ってなくて、
1:48:17	破線になってると。
1:48:19	で、
1:48:21	これ、
1:48:22	結局は不明瞭ながらも、上の方まで、
1:48:29	3せん断面があるのか。
1:48:32	不明瞭でよくわかんなくなってるのか。
1:48:35	ちょっとわからないんですけども、これ実際現地を見て上まで行って、足特に違和感なかったんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:44	これは上まであるのであれば、ここですっていうところをもうちょっと 拡大の写真とかスケッチとかをして、
1:48:52	示していただきたいんですが、例えば 560 ページに、
1:48:57	その部分の拡大ということなんですけども、
1:49:01	この点線が入ってない。
1:49:03	左側のみ見ても、
1:49:06	なかなかこう、こっからじゃ読み取れないというところもあって、
1:49:11	結局これはっきりしないという、S4のところと同じ構図になってです ね。
1:49:19	S4 は実際上まで、
1:49:22	聞いてなくても収斂してるのであれば、
1:49:25	評価できないよねっていうような形に、
1:49:28	このような議論にもなったので、ここはそうじゃないのであれば、ちょ っとそう違うんだっていうのわかるような、
1:49:36	情報を
1:49:38	示していただきたいんですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:49:41	この点いかがですか。関連してというか、491 ページに写真がついてます。
1:49:49	491 ページだと、
1:49:52	その場所の与党写真っていうので、
1:49:56	ちゃんと赤いピンが打ってあるんですね。白いピンと若井品とどっちが赤いピンが打ってあって、
1:50:03	あるのであれば施栓断面っていうのも書いてます。で、前回現地調査行った時もこのピンが打ってあって、
1:50:11	それは現地でも確認してるんですけど、
1:50:15	そうであれば、この辺りもうちょっと詳しくして、上まで切ってるっていうところの、
1:50:21	資料というのを充実化していただきたいんですが、いかがですか。
1:50:32	はい。北陸電力木村です。
1:50:34	今ほど、駐車場南東トレンチにつきまして、上までせん断面がいつてるかということで、
1:50:41	こちらが高位段丘 I a 面ということで、岩盤上面かなり風化進んで、
1:50:51	おりまして、せん断面、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:55	といますか
1:50:57	年粘土を伴うせん断面。
1:50:59	を、青線で、スケッチ上では示しておるんですけども、粘土を伴うせん断面というものは、風化の影響、
1:51:09	等ありまして、なかなか岩盤上面まで追跡はできなかったんですけども、
1:51:18	せん断面が上まで、
1:51:20	上と岩盤上面まで連続するということは、見ておりますので、そこをわかるように、資料に、写真拡大写真等をつけるなりして、
1:51:35	お示ししたいと思います。
1:51:37	以上です。
1:51:40	はい、規制庁のカイダです。
1:51:42	そうですね。粘土を伴うか伴わないかの違いがあってせん断面自体は上まで行ってんだっていうのであれば、そこがしっかりわかるような、
1:51:52	説明の
1:51:55	データをつけていただきたいので、よろしくお願いします。
1:52:00	あと、上載地層法関連で 563 ページをお願いします。これは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:06	堰堤左岸トレンチなんですけども、
1:52:09	この上から3段目ぐらいの箱書きですね。
1:52:16	基盤直上の堆積物とはかっていうところから始まって、
1:52:21	れきの平均新エンドによる海水堆積物と確実に認定することができない。
1:52:27	定量的な分析を追加実施中というふうに書いてあって、
1:52:32	ここはですね
1:52:35	例えば、
1:52:38	まだ分析を実施中なのにその新エンドがとかっていうのが、
1:52:43	というところまで言及できないような、
1:52:47	気もするんですけども例えば、
1:52:52	円礫細かく歴、アクレキ主体だとかそういう
1:52:56	ようなことであれば今見た、この観察結果からわかるんですけど、
1:53:04	真円度とかっていうのは、定量的な分析が、結果が出ない。
1:53:09	段階で、
1:53:11	これってというのは、何かもうわかるようなデータっていうのが取得されてるといことなんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:28	北陸電力の木村です。
1:53:30	この堰堤左岸トレンチにつきまして、定量的な分析を追加分実施中とい うところですが、これ今現在、堰堤左岸トレンチの、
1:53:41	ところすぐ横のところ、掘削を行いまして、その堆積物が改正対象物 かどうかということ、
1:53:53	分析をしているところでございます。
1:53:56	では、
1:53:58	堆積物を確認し、
1:54:00	したところ、堰堤左岸トレンチで見られる堆積物と同様に、れきの
1:54:08	多さですね、大きさを見ると、計5センチ以下が主体で、すべて腐って いるという状況が、
1:54:20	確認できました。
1:54:23	ですので、他の場所では、5センチ以上のでき、
1:54:28	採取して、それを取り出して、真円度、
1:54:35	とか、関係長経費の分析を行ったんですけども、それと同じ条件で、こ の園庭3トレンチの堆積物を定量的に、
1:54:46	数値で比較するということができない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:51	という結果になりましたので、
1:54:55	この園庭3トレンチの堆積物については、
1:54:58	電気の平均深度により、改正帯磁率と確実に認定することはできないと いう、
1:55:07	結果になりました。
1:55:10	ちょっと次回磯、そのあたり、
1:55:14	堰堤3トレンチの追加分析の状況ですとか、そういったものもこの資料 に追加しまして、
1:55:27	改正帯磁率を認定できなかった根拠というものを、お示ししたいと思 います。
1:55:32	以上です。
1:55:38	はい。規制庁の甲斐です。
1:55:41	まだ分析は実施中だけど現段階での、
1:55:46	状況を見ると、こうなんだっていう。
1:55:49	ことなんだっていう説明かなと思います。
1:55:54	ちょっといずれにしてもこれちょっと、
1:55:57	データがないと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:59	確かにそうかっていうところは、
1:56:02	わからないので、これは
1:56:07	追加でちゃんと示していただきたいなど。
1:56:12	考えてますのでよろしくお願いします。
1:56:16	引き続いて今度はS2S6で、617ページ。
1:56:23	先ほどちょっと、このページ出てきたんですけども、
1:56:29	有識者会合のときから、データが追加されたというところ、それはまた、先ほど、
1:56:37	申し上げたんですけども、
1:56:39	ちゃんと、
1:56:41	示していただきたいと。
1:56:44	いうところなんですけれども。
1:56:49	これは、
1:56:52	局、
1:56:53	データは増えて、
1:56:58	でもこの少ないこれ、今現段階よりは少ない51戸のDたでシュミット ネットかい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:06	を示したところ、
1:57:08	やっぱり山側への傾斜は、
1:57:10	あるよねというような形での議論だったと思うんですが、
1:57:16	データをふやして、
1:57:17	そのあたりは、
1:57:20	何か、
1:57:21	変わったのかっていう。
1:57:23	所。
1:57:24	を確認したいんですけども、補強されたというか、
1:57:30	で、
1:57:31	断層の周辺では影響がなかったっていうこれ新たに取得されたデータとしてこれ大事かなと思うんですね 623 ページ。
1:57:43	との比較で、福浦との比較で違いますよとか、
1:57:47	あと、
1:57:49	ここ、
1:57:51	618 ページにばらついてますというような説明なんですけど。
1:57:56	基本的に、619 ページとかの、この伏見っとネットを見て、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:03	あの当時のとは、
1:58:05	違うというか、もうさらに個補強するような形になってるのかどうかっ ていうのは、
1:58:12	が、
1:58:13	ちょっと確認したいんですが、山側への傾斜は、
1:58:18	全体として見たときに、
1:58:20	なかったっていう、次は説明のロジックっていうのは結局一緒なんでし ょうか。
1:58:29	はい。北陸電力木村です。1 者会合以降に、51 から 76 になっちゃって いるので、どれを追加したかといいますと、
1:58:39	資料番号で言いますと、14 番から、
1:58:44	36 番になります。
1:58:48	これを追加して、シュミットへと。
1:58:52	プロットしたのが 619 ページんですけども、
1:58:56	追加した結果、結論は変わっておりませんで、一応 2、東側傾斜。
1:59:05	をしている状況というのは認められないと。
1:59:08	いう結論については、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:59:11	入社介護時、
1:59:13	から、変わっていないというものでございます。
1:59:17	以上です。
1:59:20	はい、規制庁のカイダです。
1:59:23	そうなると、
1:59:26	不データをふやして、同じような説明を補強したと。
1:59:31	ということなのですが、
1:59:33	例えば前回、
1:59:35	南北の面で、
1:59:37	こう繋がるようなのであれば、
1:59:40	それ、こう1個1個の場所だと。
1:59:45	当然ばらついたりするので、
1:59:50	こういった結果になるんですが、
1:59:52	仮にこう南北の面でどう、この地層とこの地層が南北でこう繋がるって いうのがわかってれば、それを何か、
2:00:00	一つの面で近似してそれはこういう傾斜なんですっていうふうを示した 方が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:05	何かいや、これ、やっぱり南に、
2:00:08	傾斜してますっていう説明。
2:00:10	であれば、その方が、
2:00:13	わかりやすいように思ったんですが、
2:00:17	そのあたり、南と北でここの地層とこの地層が繋がるっていうのは、
2:00:23	いうのはやっぱりなかなかこれは、
2:00:25	わからないということなんでしょうか。
2:00:31	南と北で、どれと、
2:00:36	どのデータが
2:00:40	こだわり対応するかというのは、ちょっとなかなかわからないんですけども、618ページの
2:00:48	断層の断層からの距離と、層理の傾斜角の関係のグラフ。
2:00:54	ありますけども、
2:00:56	これ、前回から変更したのが、北面と南面で、色を分けております。
2:01:03	根井。
2:01:04	これを見ると、
2:01:07	蒔田稔

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:09	等、ほぼ同じ位置にある南面の層理を見ると、
2:01:14	同じように東傾斜しているような傾向はないですかそういったことが読み取れまして、北面と南縁で、
2:01:24	ばらついていると、いうことがありますので、
2:01:29	そういったことから、層理の傾斜方向は、断層からの巨人関係なくばらつきが認められると、というような評価をしております。
2:01:44	はい。規制庁のカイダです。
2:01:46	断層からの距離に関係なく、ここ甲田っていうのは、前回現地調査でのコメントを踏まえた、
2:01:55	マーケ、その回答ということで、もうそれはそれで
2:02:01	大事なんですけれども、あくまで、
2:02:04	このこういったデータに基づいて、山側への傾斜っていうのは、
2:02:10	なくて、どっちに傾斜してるかっていう、そこは結論になるかなと思いますので、
2:02:17	断層との比較の近いところと遠いところでこうだっていうところ。
2:02:22	ちょっと今、
2:02:25	最後は力の長寿久我とかっていうふうになってますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:29	その辺りちょっと、
2:02:30	わかるように、
2:02:33	していただきたいなど。
2:02:37	これ 617 ページ。
2:02:40	辺りはそういったところを書いてある。
2:02:43	のかなと思うんですけども、
2:02:47	ちょっとそのあたり、
2:02:49	やっぱり山側への傾斜はないんですよっていうのが、
2:02:54	いっぱいデータついてんですけど、ちょっと読み取りづらいところもあ ったりして、
2:02:59	もうここは
2:03:02	単なる資料の工夫かなと思うんですけども、
2:03:06	その点よろしくお願いします。
2:03:18	あとすいません。
2:03:21	引き続き、
2:03:26	融資の北陸電力の野原です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:29	すいません、今ほどのカイダさんのご指摘に対して少し質問させていただきたいなど。
2:03:35	思います。
2:03:38	我々の今この断層の、からの距離っていう観点で新たに現地調査を受けたコメントに対する回答になりますがそういった観点で新たに整理をしました。
2:03:48	それ以外にももともと自社会合のときからの主張内容、これをデータをふやしましたが、これらについては
2:03:57	データをふやしたんですが特に傾向が大きく変わるものではないという そういう結果がえられております。
2:04:04	我々の主張といいますのは、そのLANCRからの距離にかかわらずば らつきがあるということと、
2:04:11	あと1件、例えば喜多年齢比山崎さん。
2:04:16	みえるというのが、これは決して南面でも共通して見えるものではない。
2:04:21	ですとか今の、そもそもばらつきがあるので、そういった山田経営者、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:26	Aについてはその断層によるものではなくて、局所的な堆積構造を示しているもの、そういったことを
2:04:33	いうふうに考えておりますが、
2:04:35	例えばそれ南北方向で例えば南傾斜しているということも我々データで示しておりますが、そういったことをもう少し含めて、
2:04:49	そういった考察をもう少し書けば、どうかという、そういったご指摘でしょうか。
2:05:01	はい。規制庁の甲斐です。
2:05:03	結構その 617 ページにし、結果がまとめてあると思うんですけども、
2:05:09	南側に傾斜してるっていうようなところとか、それが地形と対比してっていうのが、そのあとのページの 619 ページ。
2:05:20	に出てて、それがさらに 613 ページに、
2:05:24	木内系図
2:05:26	で飛ばされたりしていて、
2:05:28	なかなか南側に傾斜を
2:05:33	非本当にいや山側に傾斜してる、一見傾斜してるように見えるんだけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:39	いやそうじゃなくて、南側なんだそれはこうなんだっていうところが、 ちよっとこの、
2:05:45	617 ページだけでも読み取れなくてずっと他のページを見ていくと、
2:05:51	こうなそうなんだろうなというところはわかるんですが、もう少しこ う、
2:06:01	今そうですね 617 ページのところもう少し今ほど説明されてるようなこ とを、江藤先生、補強していただきたいなという趣旨です。
2:06:14	はい。北陸電力の荒です。趣旨わかりましたので、そういったような趣 旨で資料の方修正したいと思います。以上です。
2:06:23	はい。規制庁の甲斐です。それでデータもちゃんと追加しましたという ところわかるようにしてください。
2:06:32	引き続きですねちょっと
2:06:36	660 ページをお願いします。
2:06:42	これまた S E S 登録関係なんですけれども、
2:06:47	これもちょっと今の話といったようなところがあります。まずこの
2:06:53	660 ページ、図なんですけど、
2:06:58	水色かな、水色の線がいっぱいあってこれ、断層名が入ってないので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:05	何断層なのかっていうのを書いていただきたいていうところ、まず1 点と、
2:07:12	ここで説明されたいっていうところは、
2:07:17	断面図がここにあって
2:07:21	地下 10 メートルから、
2:07:23	20 メートルぐらいのところのボーリングコア。
2:07:26	まあ 3040 ぐらいのところで、
2:07:28	鉱物脈をとって、
2:07:31	いろいろ調べたけど、
2:07:33	きれてませんでした。
2:07:35	ていうような、
2:07:37	なので、
2:07:39	S2S6の地下延長部の断層が、使用付近に変形をおよぼしたことはない というふうな評価。
2:07:46	いうところ。
2:07:48	なんですが、
2:07:50	ちょっとそこの辺で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:07:53	もともと、
2:07:55	地表付近まで切れてるんじゃなくて地表付近は、
2:07:59	変形だみたいな。
2:08:01	ような評価で、
2:08:03	もっともっと深いところでは変異があるけども、
2:08:07	こういった 10 メートル 20 メートルの地表付近まできたところでは、
2:08:13	ずれてんじゃなくて変形であるというようなところを、
2:08:17	有識者んと。
2:08:19	介護の時は議論があったと思うんですね。
2:08:22	そういった、もうあの見解に対する、
2:08:25	開始として、
2:08:29	いや、ずれてないんです。地表付近で、
2:08:32	ずれてないんですよっていうところ。
2:08:35	の繋がりがちょっとよく、
2:08:37	わからなかったんですが、
2:08:42	そのあたりは、
2:08:45	どうい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:47	お考えなのかちょっともう一遍この辺の説明を、
2:08:50	お聞かせいただきたいんですけども。
2:08:57	はい、北陸電力木村です。
2:09:03	この鉱物脈に変形がないということが、地表付近の、
2:09:09	変形がないということと、どう繋がるのかということなんですけども、
2:09:14	仮に、 $S_s - F$ の地下延長部の断層が動いて、地表付近に変形を
2:09:21	与えたと。
2:09:23	いう場合は薄片の薄片レベルで、微視的観察を行いますと、細かい変位 変形が、
2:09:34	せん断面、
2:09:36	末次の最新面沿いに検出されるものであるというふうに考えております が、
2:09:43	そのような変形が認められないということがまずあります。
2:09:50	それから、入社会合は、
2:09:53	入社介護の評価で、
2:09:56	別に足の地下延長部の断層を活動して、
2:10:00	海側隆起の変形をおよぼした時に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:03	政策下盤側直近の S1 北西部に、
2:10:16	編集というふうに評価をしております。
2:10:18	なので、S1 は、規制庁の形ではなくて、すいませんするはずであると、規制庁のカイダです。
2:10:25	すみません先ほどちょっと回線が悪くてですね 10 秒ぐらい前。
2:10:31	ちょっと途切れて聞こえないところがあったので、
2:10:34	少しもう二、三十秒前ぐらいのところからもう一度説明いただけますでしょうか。
2:10:43	あ、すいません。今聞こえますでしょうか。はい。聞こえます。
2:10:52	もし、有志が技術者介護のの評価の通り、S E S 奥野地下延長部の断層の活動によって、地表付近に変形が生じたというふうに考えますと、
2:11:07	今、薄片の顕微鏡観察で、微視的なレベルでの観察を行うと、この S E S 多くの最新面、
2:11:18	沿いに微小な変位変形が検出されるものであるというふうに考えまして、考えられるんですけども、そのような微小な変形もないと。
2:11:32	ということがまず一つあります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:34	それから、いう社会後の評価で、S Sの地下延長部の断層は、活動して、海側隆起の変形をおよぼした時に、
2:11:45	S s - Fの下盤が直近にあります、S1の北西部
2:11:51	の動きを促進するような修理的な応力変化が生じるというふうに評価されております。
2:12:00	根井、
2:12:03	これも鉱物脈法によりまして、
2:12:06	S1の北西部
2:12:08	方、発見観察で見ますと、S1の北西部の最新面を横断するI S混合層に、変位変形は認められないと。
2:12:19	いうことから、融資者が指摘するような、S1北西部の活動が促進されたということは、ないというふうに考えられまして、
2:12:31	以上のことから、
2:12:34	平成26の地下延長部の断層が動いて、椎野付近に変形をおよぼしたと 言うことは、考えがないのではないかとというふうに評価をしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:46	ちょっと今、ご説明しましたことを、資料の方にしっかり記載したいと思います。
2:12:55	以上です。
2:12:57	はい。規制庁のカイダです。
2:12:59	そうですね今のおっしゃったところあたりの前提みたいところが、
2:13:05	ここになかったので、
2:13:08	変形とは言いながらも、顕微鏡レベルで見れば、
2:13:13	ずれが生じているはずなんですけど、そういうのが、
2:13:16	ないんだと、というような、今ご説明だったと思うんですけどそれとあとS1の話と、
2:13:24	その前提がちゃんとわかるように、
2:13:28	書いていただいてかないと、
2:13:31	いや変形の話をしてるのに、
2:13:34	ずれがないと。
2:13:36	変位がないという、
2:13:38	答えになってないんじゃないかというふうにも見えてしまうので、その辺はちょっとお考えは明確にして、記載を充実化してください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:53	よろしくお願ひ。
2:14:06	かこちらからの確認としては以上ですけれども、
2:14:15	何か、そちらの方から、北陸電力の藤田ですけれども、先ほど堰堤性のちよっとお話確認あってですね、うちの方から回答して 563 ページですね。
2:14:26	これまでの説明ご存知だと思うんですけど園庭性については、5センチ未満の
2:14:32	励起がないばかりだったということで、かなり腐っているってことで、下定量的評価ができないところで過去にご報告しています。
2:14:41	それで実際のその塩酸トレンチってのは、ちょっとし、
2:14:46	細かいなっちゃうんですけど者 1 じゃなくて、民地をちょっとお借りしてた関係もあって一旦ちょっと埋め、埋めた、あるっていうのが実情でして、現在先ほど言ったように隣でですね、
2:14:56	同じ段丘面の中で、金利のところ今掘ったデータをやってるってこと紫字で書かせていただいていますんで、ちょっとそういった過去にそういったことを一度やってて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:07	ていうのがちょっと読み切れないようになってますそういうのをしっかり書いて、実際今の堀堀田ところの状況を言いますと、やっぱりもう歴が取り出せないの、
2:15:18	A B Cという三つの他の立体的なデータが実際取れないってというのが現実でして、実際あの種平面的なその面ですね、写真で、データ取って、
2:15:29	定量的なもんやったけどこういうものでしたってことしか今示せないと思ってますんで、そういったプロセスも含めてしっかり変えてですね、そういう努力はしたっていうところと
2:15:39	1枚取れないけど、定量的なこういう結果でしたということをちょっと示したような形になると思いますんで、よろしくお願いします。ちょっと補足ですけども、以上になります。
2:15:50	はい。規制庁の甲斐です。
2:15:51	そうですね堰堤サラントレンチは過去に、
2:15:54	なかなかこれを改正っていうのが、
2:15:58	というのが難しいっていうような議論があって今に至ってるというところは当然把握してますので

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:06	今追加の検討をされてるというところも今、
2:16:09	今日お聞きしましたので、それは
2:16:13	ちゃんと今後、
2:16:15	その結果なり、どういったことをしたかっていうのをつけていただき たい。
2:16:20	よろしくをお願いします。
2:16:22	その他、何かそちらから確認があれば、お願いしたいんですがよろしい ですか。
2:16:31	今日の資料に関しましては確認は以上。
2:16:35	大丈夫です。
2:16:40	はい。
2:16:53	ついてくる。
2:16:54	最初、
2:16:57	今やってる。
2:17:00	いや、次回までとかなんかいう話があるんですけど、これ、
2:17:04	今2回目です。
2:17:07	次回までってというのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:17:09	他にも言ってちょっともう1個何かありましたよね、次回。
2:17:13	あれかもそうですわ。上限。
2:17:17	でも、もう一遍開く。
2:17:26	それちゃんとそろってから持ってくる。
2:17:32	あ、規制庁のカイダです。
2:17:36	今回今のその利益の話もですし、
2:17:40	他にも、
2:17:44	と、エスワンの上面のところ、
2:17:47	の、
2:17:49	なんか駐車場南東方の表面のところ、
2:17:53	思い、示すっていうところもあたりしたんですけども、
2:18:00	あと反射法もあったと思うんですけども、そういったものも、
2:18:05	次が提出される資料で入ってくるという、
2:18:09	認識でよろしいですか。
2:18:17	今日確認いただいた点についてはデータとしておつけする方針で考えて おります。
2:18:26	αって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:28	最初、
2:18:29	追加、追加で 40 ページ、
2:18:34	ない。
2:18:35	敷地周辺、
2:18:37	説明するんだっていうのが、
2:18:39	敷地周辺の時にですねその時期には追加ですよ、こっちにも追加しま す。
2:18:45	うん。もう、タイミング的には、その会合の後の取りまとめ資料上は対 応します。
2:18:51	相当。
2:18:53	会社もひょっとして
2:18:56	V S P の左側の反射法の話。
2:18:59	この計測 34 ページ、原則、
2:19:02	うん、いずれ入れます。
2:19:05	うん技術でいうと 1 点です。
2:19:08	追加の話はこう入って入らない。
2:19:14	どう。いや、わかんない。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:17	規制庁のカイダです。
2:19:22	次に、今日追加されるといったデータ含めて資料の
2:19:28	手直し等で、どのぐらいのスパンというか、時間、
2:19:35	ていこのを見込まれてるかもし今わかれば、確認したいんですけども。
2:19:41	北陸電力の藤田です。データの追加のところは、S1のところと、堰堤砂岩と反射が大きいのかなと思ってますけども、それぞれ
2:19:51	一時的なデータとか、確認はこちらしてる部分がありますので、最終的な品証とかそういうのチェックの日、時間が必要なだけですので、
2:20:01	最速でいけば1週間ぐらいで、
2:20:04	資料の直しも含めて対応できるかなというふうには思っておりますが、
2:20:11	はい。規制庁の甲斐です。
2:20:13	ちょっと反射法のところは、ちょっとその近傍の方で出して、ゆくゆくはっていうな、
2:20:21	形にも、
2:20:22	私

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:25	できればすぐについてということでもお聞きしたんですけど、それも含めて 1週間、
2:20:29	ということでしょうか。
2:20:32	すいませんし、敷地内に関する反射については持続性については1週間 ということとその他の測線については、近傍の方でしっかりご説明した いなというふうな
2:20:42	考えなんですけども、
2:20:45	わかりました販社今近傍の方でやってるもののうち、測線については、 ある程度のところまでできてるので追加されると。で、
2:20:55	他
2:20:57	何点か申し上げたのに1週間ぐらいということで、
2:21:01	承知しました
2:21:05	できたらですね、また資料の方、
2:21:09	提出、ご連絡いただいて、提出いただきたいなと思いますんで、
2:21:14	その先どうするかっていうところにつきましては資料を見さしていただ いて、また、こちらの方で検討したいと思いますが、
2:21:25	よろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:28	はい。取り急ぎ今日確認いただいた点についてはしっかり対応して、でき上がり次第、送付させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
2:21:41	はい、わかりました。
2:21:42	では長い時間、
2:21:45	お疲れ様でした。今日のヒアリングは、これにて終了していきたく思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。